1 9 9 5

# 授 業 概 要
【シ ラ バ ス】

## 心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAUME GAKUEN COLLEGE

# 授業概要（シラバス）について

シラバス（Syllabus）は授業計画、教授細目とも訳されます。このシラバス集には、本年度に心理学科で開設される全ての授業科目について、その授業内容および授業の進め方が詳しく紹介されています。従来の講義要項より授業内容が詳しく説明されているので、学生の皆さんが必修科目を履修するときには、事前に授業内容を把握し、学習の準備をするのに役立つでしょう。また、選択科目を選ぶときには、皆さんが本当に学習を望む授業内容であるかどうかを判断する材料となるでしょう。

このシラバス集に記載された授業計画から授業の内容、進行を判断して計画的に学習目標を立ててください。また、授業進行の早い段階で不明な点を積極的に質問して、授業内容を正しく把握し、実り多い学習ができるよう、多いに活用してください。

# 目次（心理学科）

教養教育科目（1年）


| | | |
|---|---|---|
| ﾋｭｰﾏﾆｽﾞﾑ論 | | 3 |
| 文学･ﾌｨｸｼｮﾝと人間 | | 4 |
| 王朝文学の世界 | | 5 |
| 話し言葉の文芸 | | 6 |
| 西洋文学 | | 7 |
| 近代日本の歴史 | | 8 |
| 西洋史概説 | | 9 |
| 東洋美術 | | 10・11 |
| 演劇論 | | 12 |
| 現代社会論 | | 13 |
| 現代家族論 | | 14 |
| 日本国憲法 | | 15 |
| 市民生活と法 | | 16 |
| 政治学入門 | | 17 |
| 生活の経済学 | | 18 |
| ﾏｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ概論 | | 19 |
| 現代社会と女性 | | 20 |
| 自然科学史 | | 21 |
| 生命の科学 | | 22 |
| 生物と環境 | | 23 |
| 生活の科学 | | 24 |
| 健康の生理学 | | 25 |
| 宇宙と地球 | | 26 |
| 数の科学 | | 27 |
| 総合英語I | | 28～31 |
| 選択語学I | 英語1(ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ) | 32 |
| 選択語学I | 英語2(ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ) | 33 |
| 選択語学I | 英語3(ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ) | 34 |
| 選択語学I | 英語4(ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ) | 32 |
| 選択語学I | 英語5(ﾌｨｸｼｮﾝ講読) | 35 |
| 選択語学I | 英語6(ﾌｨｸｼｮﾝ講読) | 36 |
| 選択語学I | 英語7(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) | 37 |
| 選択語学I | 英語8(ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) | 38 |
| 選択語学I | 独語I | 39 |
| 選択語学I | 仏語I | 40 |
| ｽﾎﾟｰﾂA(ﾃﾆｽ) | | 41 |
| ｽﾎﾟｰﾂA(卓球とﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ) | | 42 |
| ｽﾎﾟｰﾂA(ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ) | | 43 |
| ｽﾎﾟｰﾂA(ｴｱﾛﾋﾞｸｽ) | | 44 |
| ｽﾎﾟｰﾂB(ｷｬﾝﾌﾟ) | | 45 |
| 健康科学 | | 46 |

ｽﾎﾟｰﾂ科学 ················ 47

専門教育科目（１年）

心理学序説 ················ 51
青年心理学 ················ 52
発達心理学 ················ 53
条件づけ ················ 54
性格の形成 ················ 55
社会心理学 ················ 56
生理心理学 ················ 57
基礎技法演習 ················ 58・59
実験計画法 ················ 60
心理学演習Ⅰ ················ 61
心理学演習Ⅱ ················ 62
文献研究 ················ 63～67
心理統計Ⅰ ················ 68
心理統計Ⅱ ················ 69・70
情報処理Ⅰ ················ 71～73

一般教育科目（２年）
外国語科目　（２年）

人間 ················ 77
英語ⅡA ················ 78～81
英語ⅡB ················ 82～85
独語Ⅱ ················ 86
仏語Ⅱ ················ 87

専門教育科目（２年）

感覚と知覚 ················ 91
記憶と思考 ················ 92
動機づけと感情 ················ 93
英書講読 ················ 94
情報処理Ⅱ ················ 95・96
心理学研究演習 ················ 97～104
心理学研究法A ················ 105～108
心理学研究法B ················ 109～112
精神生理学 ················ 113
心理検査法 ················ 114
ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ ················ 115
行動療法 ················ 116

臨床心理学 ………………… 117
健康心理学 ………………… 118
障害児心理学 ………………… 119
交流分析 ………………… 120
児童相談 ………………… 121
心理学特講Ⅰ ………………… 122
心理学特講Ⅱ ………………… 123
心身医学 ………………… 124
精神保健 ………………… 125
精神医学 ………………… 126
卒業研究 ………………… 97～104

# 教養教育科目（１年）

| 【授業科目名】　ヒューマニズム論 | 【担当者】　田中未来・黒田　瑛 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

「ヒューマニズム」の理念について、その展開を述べ、つぎに現代社会の諸問題に対応するときの「ヒューマニズム」の視点を示す。またそれを現実に自らの生き方に反映させることについて学生とともに考える。「ヒューマニズム」は本学の建学の理念として、今日まで学園の教育を支えた思想である。

【テキスト・参考書】

テキスト：　な　し
参考書　：　随時紹介する。

**授　業　計　画**

授業内容を以下のように構成する。

第1部　ヒューマニズムの意義（2回）
　ヒューマニズムの語義
　今、なぜヒューマニズムか
　人間を考える
　　生命、精神、実存、統一体としての人間
　人間の尊厳と価値

第2部　ヒューマニズムの展開（4回）
1. 東洋と西洋
2. 「エロス」とヒューマニズム　－ギリシャ思想－
3. 「アガペー」とヒューマニズム　－キリスト教思想－
4. 「人間らしい文化」とヒューマニズム　－ルネッサンス－
5. 「自由と人権」とヒューマニズム　－啓蒙思想と市民革命および産業革命－
6. 人間の現実の生活の尊重　－プラグマティズム－
7. 「労働」とヒューマニズム　－社会主義－
8. 「主体性」と「限界」　－実存主義－

第3部　現代とヒューマニズム（4回）
1. 科学と技術　－自然、環境、倫理、労働、情報－
2. 組織と人間　－個と集団、自由と統制、社会制度、国家－
3. 大衆社会状況の広がり　－没個性化、消費文化への志向、外部志向型の人間、操作・管理される社会－
4. 人権思想の発展　－障害者、高齢者、女性、子ども、少数民族－
5. 教育・福祉とヒューマニズム　－生涯学習、発達権、教育を受ける権利、生存権、幸福追求権、ヴォランティア

第4部　ヒューマニズムの課題（2回）

授業を次のように分担してすすめる。
　保育科1年生　－　田中（第1部、第2部、第4部）　黒田（第3部）
　教養科および心理学科1年生　－　田中（第2部）　黒田（第1部、第3部、第4部）

【評価方法】

レポート提出

| 【授業科目名】　文学・フィクションと人間 | 【担当者】栗田廣美 |
|---|---|

【開講期】　１年前期

【授業目標】　文学作品に描かれた「世界」とは何なのか。それは先ず（少なくとも）、我々が生きているこの「現実」とは別の、「もう一つの世界」だろう。本講の目標は、この「もう一つの世界」としての「文学」(一般的には「芸術」）の構造を探りつつ、同時に、それとの関係の中で見えてくる「現実世界」の意味をも考えることにある。

【テキスト・参考書】

教科書は用いない。講義の中で指定する若干の小説を読むことが課題になる。

## 授　業　計　画

○　例えば「小説」に描かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。しかし我々は、なぜワザワザこんな「作り事」を生み出し、求めて来たのか。なぜ、そんなウソッパチに感動したり、「生き方が変わってしまった」などという驚くべきことがおこるのか、という事を考えたい。

これを考えることは、「文学」のみならず、「芸術」一般を考える出発点にもなろうし、ひるがえって、（我々が生きている）この「現実」なるものの意味を考えることでもあろう（「現実」はなぜ「フィクションではない」などと言えるのか)。

○　講義は概ね、以下の三点をめぐって順次展開するはずである。

①　［フィクション論］……「フィクション」とは何か、それと「現実」は、いかなる関係にあるか、という問題を軸に考える。

②　［文学作品における「方法」について］……小説を中心に、「もう一つの世界」がどのような構造を持っているかを考える。

③　［日常性と非日常性］……ひるがえって、我々が「生きている」（と思っている）この「世界」のリアリティー（あるいは限界）について考える。

○　若干の課題作品（講義の中で指示する）を読むのは当然ながら、そのほかにも、講義でふれる作品を意欲的に読んで行くこと。

「芸術と現実」に関する自分なりの問題意識を、可能な限り鋭く研ぎ澄ますこと。

この二つの前提があれば、講義は決して「難解」ではない。

【評価方法】　筆記試験（自筆ノート参照可）。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する小テスト（１～２回）も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。

| 【授業科目名】　王朝文学の世界 | 【担当者】 佐々木　新太郎 |
|---|---|
| 【開講期】　1年後期 | |

【授業目標】

平安時代において、貴族が求めた「みやび」を、作品の中の恋愛観と精神的美意識より見出すことを目標とする。

【テキスト・参考書】

テキスト・　田辺正男・宮城謙一・須田哲夫 共編　校註「伊勢物語」　若樹出版

**授　業　計　画**

『伊勢物語』125段すべてを取り上げるべきであるが、その中よりいくつかの段を取り上げる。『伊勢物語』のモデルといわれる在原業平を中心とし、彼を取り巻く人々と、それらの人々の生きた時代の流れを把握し、『伊勢物語』における「みやび」を考察する。

【評価方法】

学年末試験の成績に、平常点を加算する。

| 【授業科目名】 話し言葉の文芸 | 【担当者】 東喜望 |
|---|---|
| 【開講期】 1年前期 | |

【授業目標】文字で表現された文芸が制作される以前に、口ことばでうたわれ、語られた文芸があった。かつて文字は、支配層のものであった。文字を知らない民衆の創造した謡や話は、あらゆる文芸の基礎を成している。ここでは、基層文化としての民間説話を、概論的に説明しながら、その伝承のコスモロジーに至りたい。

【テキスト・参考書】
1. テキストは使用しない。講義資料を配布する。2. 参考書
関敬吾編・岩波文庫、日本の昔はなし(I)「こぶとり爺さん、他」・(II)「桃太郎、他」(III)「一寸法師、他」

授　業　計　画

講義は、およそ以下の項目にそって行なう。

1. 自然と文化
2. ことばと文化
3. 文芸の起源
4. 口承文芸
5. 昔話の形態
6. 昔話のルーツ
   <桃の子太郎・浦島・炭焼長者など>

【評価方法】
定期試験時に実施する筆記試験。

| 【授業科目名】　西洋文学 | 【担当者】　衣川　清子 |
|---|---|
| 【開講期】　１年後期 | |

【授業目標】

女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。

【テキスト・参考書】

テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。

## 授　業　計　画

この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作者の横顔、作品が生まれた背景、作品の内容と特徴、その作品がどのように読まれてきたかなどを紹介し、一種の文学案内にしたいと思っています。

毎回の授業で一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、L．M．モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリッパ・ピアス『トムの真夜中の庭』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』、イサベル・アジェンデ『精霊の家』などです（変更する場合もあります）。音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読んでみたいと思っている学生の聴講を期待します。授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。

【評価方法】

平常点とレポートの総合評価とします。授業の中で取り上げた作品またはその他の指定する作品の一つについて、「書評」（「感想文」ではなく）の形で期末レポートを書いていただきます。書き方については授業の中で説明します。

| 【授業科目名】　近代日本の歴史 | 【担当者】　平賀 明彦 |
|---|---|

【開講期】　1年前期・1年後期

【授業目標】

歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史に題材をとりながら、時間的流れのなかで変化をとげていく社会を構造的にとらえていく方法について考えていきたい。

【テキスト・参考書】

テキスト：特になし

参考図書：中村政則『日本近代と民衆』校倉書房

授　業　計　画

幕末の動乱を収拾し、列国の圧力に抗しながら、国内の産業の育成し富国強兵を実現しようとした明治政府は、その過程で色々なやり方で、地域を再編成し中央への求心力を高めようとした。その様子を下のようないくつかの側面からながめることにより、近代日本の基礎がどのように固められていったかを検討してみたい。

◇明治維新政府をとりまく内外の状況
◇内務省設置と地方制度の整備
◇町と村の「文明開化」
◇初期の教育政策と地域の学校
◇初期の宗教政策と地域の寺・神社
◇日清・日露戦争と地方の「改良」
◇日本近代における中央と地方

【評価方法】

期末にレポートを課す。
講義の中で小レポートを出してもらうことがある。

| 【授業科目名】 西洋史概説 | 【担当者】 川鍋 光弘 |
|---|---|

【開講期】 1年後期

【授業目標】 西洋近代の生み出した工業化社会・産業社会は人々に豊かな生活をもたらした反面、南北問題・民族問題・植民地問題など、世界の多くの地域に被害をあたえてきた。今や西洋内部においても民族や格差の問題が表面化している。ここでは、西洋の歴史を他の地域との関連のなかで考えてゆきたい。

【テキスト・参考書】 テキスト とくに使用せず、必要に応じて資料を配布する
参考書「地域からの世界史」シリーズ 第10巻 地中海、第11巻 ロシア・ソ連、第12巻 東ヨーロッパ（朝日新聞社編）・第13巻 西ヨーロッパ(上)、第14巻 西ヨーロッパ(下)、第15巻 北アメリカ

授　業　計　画

西洋の歴史を単に知識として理解するのみではなく、国際社会に生きる日本人として、各自が西洋の歴史をどう認識してゆくかが要求される時代となってきているので、学生自身がひとつの歴史的事実についてどう考えるかを重視する授業としたい。そのため、映像・画像・モノなどをとりあげながら、お互いの意見交換を重ねつつ、歴史認識を深めてゆく。さしあたり、次の諸テーマを考えているが、授業の進行によって変えることもある。また、全てのテーマを扱うともかぎらない。

① 世界史と西洋史
② 日本人の"西洋"観
③ ヨーロッパ世界の成立
④ キリスト教とイスラム教
⑤ ローマ・カトリック世界とビザンツ世界
⑥ 絶対王政と西ヨーロッパの世界進出
⑦ 市民革命と産業革命
⑧ 近代社会とナショナリズム
⑨ 帝国主義と社会主義
⑩ ファシズムと人民戦線
⑪ 東西冷戦とヨーロッパ統合

【評価方法】 ① 出席点
② 随時に行うアンケート・感想・意見などの提出状況を中心に評価する。

| 【授業科目名】　東洋美術 | 【担当者】　神道　明子 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】

中国美術への理解を深めることにより、東洋の中の中国美術、延いては東洋の中の日本美術という視点を持つことに努める。また美術作品を通して、背景となる歴史・政治・文化の流れを考える力を養うことを目標とする。

【参考書】

『中国美術史』　マイケル・サリバン著　新潮社
『中国美術史』　小杉一雄著　南雲堂　他

授　業　計　画

古代中国の美術は日本の美術に大きな影響を与えた。特に我が国の仏教美術は、中国・朝鮮の美術を理解することなしには語ることができない。しかしその中国の仏教美術もまたインドからの外来文化である。これらのことを念頭に置き、前半は中国の何千年という歴史を支えた仏教以前の美術、主として都市や墳墓などの考古学的発掘の成果にみる美術を中心に話を進める。

後半はインドから西域を通って中国へ伝わった仏教美術が、どのようにして展開してゆくのかを現在中国各地に残る石窟寺院の仏教彫刻を中心に、図やスライドを使って講義を進めてゆくことにする。展覧会などの見学も随時行う。

(1) 彩陶・黒陶
(2) 殷・周・春秋戦国時代の美術　青銅器文化
(3) 秦始皇帝と兵馬俑坑
(4) 漢の明器と画像石
(5) 仏教伝来と初期の仏像
(6) 炳霊寺石窟と麦積山石窟
(7) 敦煌莫高窟の壁画と塑像
(8) 雲岡石窟
(9) 竜門石窟
(10) 隋・唐の仏教美術

【評価方法】

レポート　他

| 【授業科目名】 東洋美術 | 【担当者】 山田磯夫 |
|---|---|

【開講期】 1年前期

【授業目標】

性格の異なるいくつかの文化圏からなる東洋諸地域に於いて、仏教がどのように受容され、仏教美術がいかに形成されていったのか、こうした問いかけを常に持ちながら、東洋美術の特質を考える。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書　：授業中に随時紹介する

授　業　計　画

一口に東洋といっても範囲が広く、各地域では相異なる文化圏に属し、それぞれ異なった美術様式を持っているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこで本講座ではアジアの諸地域に強く影響を与えた仏教に焦点をあて、インドから中国・朝鮮半島、そして日本へと伝えられた仏教美術がそれぞれの地域で生み出した表現形式やモティーフを概観する。スライド使用。

以下のテーマに沿って進める。

①はじめに—仏教とシルクロード
②インドの美術Ⅰ—釈尊の生涯
③インドの美術Ⅱ—釈尊の前生
④インドの美術Ⅲ—仏像の誕生
⑤中国の美術Ⅰ—仏教の伝来
⑥中国の美術Ⅱ—南北朝時代
⑦中国の美術Ⅲ—石窟寺院
⑧中国の美術Ⅳ—隋・唐時代
⑨朝鮮半島の美術Ⅰ—三国時代
⑩朝鮮半島の美術Ⅱ—統一新羅時代
⑪日本の美術—仏教の伝来

【評価方法】

筆記試験

| 【授業科目名】 演劇論 | 【担当者】高橋秀雄 |
|---|---|
| 【開講期】 1年前期 | |
| 【授業目標】 "人生は劇場なり"という言葉があり、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立してきている。この演劇についての考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探求する。 | |
| 【テキスト・参考書】<br>テキスト：使用しない<br>参考書：各種演劇関係書（その都度指示する） | |
| 授　業　計　画 | |
| 洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては数回の講義となる。<br>1、宗教儀礼と演劇<br>2、悲劇と喜劇<br>3、能と「花伝書」<br>4、歌舞伎と「虚実皮膜論」<br>5、リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム<br>6、歌舞伎と新劇<br>7、オペラとミュージカル<br>8、比較演劇論 | |
| 【評価方法】 1、各期末のレポート<br>2、授業時の小レポート<br>3、授業時の平常点<br>左記3項による総合評価 | |

| 【授業科目名】　現代社会論 | 【担当者】　民秋　言 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】

現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えるとき、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。

【テキスト・参考書】

講義中に適宜指示する。

## 授　業　計　画

1. 「人間が生きる」ということ　－　社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。
2. 人間の行動・行為　－　人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。
3. 「人間らしく」生きることと欲求　－　われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。
4. 人間を特徴づけるパーソナリティ　－　人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。
5. 行動様式としての文化　－　とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。
6. 集団生活のあり様　－　人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。
7. 現代日本社会の諸相　－　現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。

【評価方法】

ペーパーテスト

| 【授業科目名】　現代家族論 | 【担当者】　民秋　言 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。

【テキスト・参考書】

望月　嵩、木村　汎共編　『現代家族の福祉－家族問題への対応』　培風館

## 授　業　計　画

| | |
|---|---|
| 1．人間にとって家族とは何か | －　家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。 |
| 2．家族のはたらき | －　家族は基礎的集団といわれ、いろいりなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一様に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。 |
| 3．家族のタイプ | －　家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにいはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。 |
| 4．家族のしくみ | －　家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との２面から検討する。 |
| 5．家族と福祉 | －　家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。<br>(1) 子どもの養育と家族福祉<br>(2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉<br>(3) 高齢化社会における家族福祉 |
| 6．まとめ | －　今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。 |

【評価方法】

ペーパーテストを期末に実施

| 【授業科目名】 日本国憲法 | 【担当者】 工藤　繁裕 |
|---|---|
| 【開講期】 1年後期 | |

【授業目標】

日本国憲法の基本構造を理解し、法的・憲法的考え方を身につける。

【テキスト・参考書】 テキスト：特に指定しない
参考文献：樋口陽一「憲法」（創文社）
野中・江橋編「憲法判例集」（有斐閣新書）

授　業　計　画

憲法の基本原則を中心に、判例も参照しながら、おおよそ以下の項目に沿って進める。

1　憲法および日本国憲法
2　主権
3　国際社会と平和
4　人および市民の権利　（１）古典的権利
5　　同　　　　　　　　（２）現代的権利
6　　同　　　　　　　　（３）市民の権利と義務
7　議会
8　内閣と行政
9　地方自治
10　裁判

【評価方法】 筆記試験

| 【授業科目名】　市民生活と法 | 【担当者】　工藤　繁裕 |
|---|---|

**【開講期】**　1年後期

**【授業目標】**

日常生活を法の目から眺め、同時に日常生活を規制しているこの法そのものについて考えることを通じて、法的な考え方を身につけることを目標とする。

**【テキスト・参考書】**

テキスト、参考書：考慮中

## 授　業　計　画

現代社会生活の一領域・一局面をピックアップし、一話完結の形で進める。各テーマでは、その実態・規範・判例を検討し、その問題点を考える。現在予定しているテーマは以下の通りであるが、ほかにも、女性、消費生活、差別、税金、高齢化社会、社会保障などなど、いわば無数にある。可能な限り、受講者の希望も取り入れて決めることとする。

1　生命と法
2　家族と法
3　教育と法
4　労働と法
5　情報と法
6　医療と法
7　犯罪と法
8　環境と法
9　地域社会と法
10　国際社会と法

**【評価方法】**　筆記試験

| 【授業科目名】　政治学入門 | 【担当者】　加地　直紀 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】政治とは①利害の調整、②権力闘争であることを、政治制度、政治思想、国内外の政治の実態に関する解説をとおして理解していただくことを目標とする。

【テキスト・参考書】
テキスト：中村勝範『正論自由』第11巻（慶應通信、平成7年1月）

授　業　計　画

政治とは、対立する国民の利害を調整することであり、また権力闘争である。したがって政治には、生身の人間の欲望が渦巻いており、倫理や道徳でわりきれない状態である。汚職政治家が有能な政治家でもある、という皮肉な面もある。
この授業では、道徳ではわりきれない政治のダイナミズムについて、具体的な出来事を通して解説する。

だいたい以下の手順で授業をすすめる。

① 政治制度の解説
② 政治思想の解説
③ 国内政治について
④ 国際政治について

【評価方法】① 筆記試験またはレポート
② 平常点（出席ではない。質問等）

| 【授業科目名】　生活の経済学 | 【担当者】　内山　哲朗 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】

経済の基本的な仕組みを理解し、《生活と経済》の関連をめぐる基礎的な知識の習得をめざす。同時に、社会的な諸事象を《経済学の眼》で見る方法の重要性について学習する。

【テキスト・参考書】

テキスト：池上惇『経済学への招待』（有斐閣、1994年）
参考書：講義において適宜紹介する。

授　業　計　画

人間の《生活》の営みを《いのちとくらしの再生産》としてとらえ、《いのちとくらしの再生産》が「豊かになる」ということが本来的にどのような意味であるのかについて、以下のテーマを中心にしながら講義を進めていく。必要に応じて、ビデオによる学習も取り入れる予定である。

(1)　人間の《生活》と欲求の発展段階
(2)　人間の欲求と市場経済
(3)　世界の経済体制
(4)　戦後日本経済と産業構造の変化
(5)　経済のサービス化・ソフト化
(6)　経済成長と企業社会
(7)　地球環境問題と経済構造の転換
(8)　世界経済のなかの日本
(9)　アジア経済のなかの日本
(0)　《生活の豊かさ》と経済政策

【評価方法】

学期末試験の成績と授業への出席等を勘案して総合的に評価する。

| 【授業科目名】 マスコミュニケーション概論 | 【担当者】 瀬木　博道 |
|---|---|
| 【開講期】　1年前期 | |
| 【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代ともいえる。このマスコミを初歩から説き起こし、マスコミ、ジャーナリズムの特質を解説し、社会に及ぼす影響について、考えられるようにして行きたい。 | |
| 【テキスト・参考書】 瀬木博道・小倉重男共著「コミュニケーションするPR」 電通出版事業部 | |

授　業　計　画

- マスコミとは何か。その現状（上）
- 同上（下）
- 日本の新聞報道の問題点 ── 外電を中心に
- 日本の新聞経営の問題点
- ジャーナリズムとは
- ジャーナリズムの文化的基盤
- 記者クラブの問題点
- 報道PR活動 ── パブリシティと広告
- 言論の自由、知る権利
- 日米ジャーナリズムの比較考察
- テレビ報道の問題点
- マスコミのあす ── 新聞を中心に

【評価方法】

| 【授業科目名】　現代社会と女性 | 【担当者】富永静枝 |
|---|---|

**【開講期】**　1年前期

**【授業目標】**

男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましいあり方や、生き方を探る。

**【テキスト・参考書】**　テキスト:使用しない。

参考書:　小松満喜子著　『私の女性学講義』ミネルヴァ書房

『婦人白書』婦人団体連合会編、ほるぷ出版

## 授　業　計　画

雇用機会均等法や育児休業法の導入など、女性をめぐる社会的状況は近年大きく変化した。一方、不況下における女子学生の厳しい就職差別などに見られるように、女性が社会に出てから一人の人間として、自立して主体的に生きることは相変わらず困難な状況にある。

そこで変動する現代社会の諸問題、とりわけ家族、労働、教育、福祉の諸問題を女性の視点から考えてみることによって、現代の女性および男性がかかえている問題状況を明らかにし、21世紀に生きる男性と女性の望ましいあり方や社会システムについて考える。

内容は

(1)女性のライフサイクルの変化と性別役割分業、

(2)現代社会と女性労働

(3)高齢(化)社会と女性・家族・家庭

(4)男女共生社会に向けての世界の動き・日本の動き

の4テーマとし、それぞれ2~3回講義する予定である。ただし学生の問題関心の寄せ方によってテーマ毎の講義回数は変更することもある。

授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加える。また身近な問題なども取り上げることによって、それらの諸問題が学生自身の現在と将来における自分自身の問題でもあることを認識できるようにし、問題解決への意欲を持てるようにしたい。(なおこの授業科目は保育科と心理学科の学生を対象とした科目でる。教養科の学生は専門科目の現代女性論でさらに詳しく論ずる予定なので教養科の学生はそちらを選択して下さい)

**【評価方法】**

学期末のレポートの他平常時にときどき実施するミニレポート。

| 【授業科目名】　自然科学史 | 【担当者】　柳下　登 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】　人間は自然を理解すること無しには生活をしていけない。人間の生活に科学することの原点がある。人間は科学することで、自己を変革し、より人間らしい人間になって来た。科学することは真善美を追究する文化系の諸活動と同根である。ここでは人間を基軸に科学の足跡を追うことにする。

【テキスト・参考書】
テキスト：使用しない
参考書：サートン『科学史と新ヒューマニズム』岩波新書
シンガー『科学思想のあゆみ』岩波書店　ほか

授　業　計　画

1）科学を成り立たせた人間の条件
2）道具の発見と人間
3）火の発見と人間
4）農耕のおこりと人間
5）地動説と人間
6）ニュートン力学と人間
7）波でもあり粒子でもある物質の発見と人間
8）生命起源、生物進化と人間
9）原子論から原子核の発見と人間
10）バイオサイエンスと人間
11）現代宇宙論と人間
12）世界最古の紙『パピルス』紙の作製実習

【評価方法】

レポートならびに受講態度

【授業科目名】 生命の科学

【担当者】 吉川研二

【開講期】 1年前期

【授業目標】

生物学は人間が生きていく上で最も大切な基礎学問です。なぜならば私たちは多くの生物に依存して生命を維持しています。清浄な空気や水、土壌は生物たちの共同作業によって生み出され、食糧や医薬品、日用品など様々な資源として利用しています。一般には難しいといわれる生物学ですが、現代を生きる人間の必修教養として学んでほしい。

【テキスト・参考書】

プリント（複数の書籍を参考資料として使用する。）

授　業　計　画

地球上に生命が誕生してから３５億年、多種多様な生物が登場し、繁栄し、消滅してきました。しかしながら、生命の設計図である遺伝子、すなわちＤＮＡは生命の誕生から現在まで脈々と伝えられてきました。顕微鏡でしか見ることのできない微生物から巨大な生物であるシロナガスクジラやセコイアまで、その基本は同じです。基本は同じでも、生物を比べて見るとその形、生態、行動など一つとして同じものはありません。私たちが今見ている生物はそれぞれが進化し、生きてきた姿なのです。何故こんなにも多様な生物が存在するのでしょうか。

エイズ、アレルギー、遺伝病、人口や資源、環境など生物学に関わる問題は山積みしています。生物学はまた日進月歩の学問です。農学、医学、薬学、栄養学、遺伝子工学、心理学など応用分野も多方面にわたっています。授業ではいくつかの生物学の話題を拾いながら、生命について、生命現象の謎について紹介していきます。

- 生きているとは？
- 生命の起源
- ＤＮＡ学
- 種とは何か
- 性の誕生
- 病気と闘う
- 環境問題
- 生命の共生
- バイオエシックス

【評価方法】

レポート
筆記試験

| 【授業科目名】　生物と環境 | 【担当者】 小作明則 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】　命を持つもは全て何らかの「環境」という枠のなかで生活しています。そこで本講では「生物と環境」がどのように影響しあうことで地球という星が成り立っているかを「ヒト」という特異な動物とのかかわりあいを含めて考えていく。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

授　業　計　画

全ての地球上の生物は必ず環境という枠の中で生れ、生活し、滅んでいきます。今日、地球上のあらゆる環境は「ヒト」の経済活動のために地球誕生５０億年の間で最も激しく、そして経験したことのないかたちで環境条件が激変している時代に直面しています。このような状況の中で「生物と環境」の講義ではまず地球上で生活している生物がその生物を取り巻く環境とどのような関連をもって生活しているかについて概説し、次に生物を取り巻く環境の変化とその生物の対応について具体的かつ生態学的見地からの理解を深めます。そして最終的にヒトという動物の存在が地球環境にどのような歴史的かつ経済的背景をもって影響を及ぼしてきたかについて学んでもらいたいと考えています。以上述べたことは現在大きな問題と成っている種々の「地球環境問題」を理解し、それにたいして我々がどのような問題意識をもち、さらに具体的対応策を個人のレベルで立てていくことができるかを考える際の手引きになるよう構成するつもりです。

講義の中ではできるだけ実物の生き物に接する機会を作り、疑似体験でわない、直接体験の機会を多く持ちたいと思っています。

【評価方法】　①筆記試験
②レポート

| 【授業科目名】　生活の科学 | 【担当者】　滝沢　靖臣 |
|---|---|
| 【開講期】　1年前期 | |

【授業目標】
現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。

【テキスト・参考書】

授業の中で項目ごとに紹介する。

授　業　計　画

物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。

1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。
2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。
3. 原子と分子と私たちの生活。
4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。
5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。
6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。
7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。
8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。
9. アルコールの正体は何であろうか。
10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。
11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。
12. 物質科学とエネルギー
13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。
14. 石油資源と石油化学を考える。
15. 科学は地球を救えるか。

【評価方法】　試験、レポート、出欠により評価する。

| 【授業科目名】　健康の生理学 | 【担当者】　境　広志 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

より積極的・創造的で高度な健康を獲得するためには「自分の健康は自分で管理する」という意識を持つことが大切である。本講では、健康管理に必要な様々な知識を身につけ、それらを生活のなかで実践していくことを目標とする。

【テキスト・参考書】

《テキスト》使用しない
《参考書》　参考図書・文献等は講義のなかで紹介していく

授　業　計　画

健康の生理学では、現代人の健康問題（成人病・ＡＩＤＳ・ストレス・栄養・環境問題・食品添加物…）についてを取り上げ、それらを通してより積極的・創造的で高度な健康を獲得するために必要な事項について考えていく。また、健康づくりのためにスポーツを日常生活のなかに取り入れていく場合、目的に応じてどのように実践していけば最大限の効果が得られるかについて最新の情報やデータを紹介しながら深く学習していく。主な内容は以下のとおりである。

(1)成人病の予防
(2)免疫とＡＩＤＳ
(3)長寿の科学
(4)子どもの健康とスポーツ
(5)姿勢と健康
(6)健康づくりのためのスポーツ
(7)スポーツ傷害と健康
(8)ストレス
(9)食生活と健康
(10)食品の安全性
(11)環境問題と健康

【評価方法】

①課題レポート
②授業時の感想文（不定期）

| 【授業科目名】　宇宙と地球 | 【担当者】　杉村　新 |
| --- | --- |
| 【開講期】　1年前期 | |

【授業目標】ただ眺めていれば ロマンチックな星も，自然科学では物質とエネルギーの塊にすぎない。でも，あれは何だろうかと問いかけてみると，思いがけずロマンに遭遇するかもしれない。この授業では，主として地球について，特に神戸のような大地震がなぜ起こるのだろうかなどを考える。

【テキスト・参考書】
テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社）
参考書（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）

授　業　計　画

テキストは必ず持ってくること。講義中のおしゃべり厳禁。
毎回スライドを映しながら講義する。

授業はテキストの順序通りではない。順序未定。
内容の概要：身の回りの地学；天体の運行と人間生活；資源と人間生活；地球の活動と災害；地球と人間。

【評価方法】持込不可のテストで成績をつける。自然科学は暗記物ではないから，教科書のまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点する。

**【授業科目名】** 数 の 科 学　　　**【担当者】** 人来院 ひさ子

**【開講期】** 1年前期

**【授業目標】**

日常の身の回りにあふれる情報について、その意味を考え正しく理解するために、数学的に分析するさまざまな手法を学ぶ。

**【テキスト・参考書】**

プリントを配布

## 授 業 計 画

なるべく身近なデータを使ってそれらの意味するところを考えることからはじまって、広い視野で物事をとらえる視点を身につける。

対数の意味と対数目盛によるデータの観察

累積値の見方

いろいろな統計的数値

箱ひげ図

ロジット変換

散布図と相関関係

乱数について

確率と確率分布

**【評価方法】**

期末にテストを行う

| 【授業科目名】 総合英語Ⅰ | 【担当者】 清野　茂子 |
|---|---|
| 【開講期】 1年前期・1年後期 | |
| 【授業目標】<br>現在扱われている興味ある話題をもとに、英語の読み書き、話す、聴くの4つの基礎をより一層確かなものにして、英語を身近な言葉としていきたい。 | |
| 【テキスト・参考書】<br>未定 | |
| 授　業　計　画 | |
| | |
| 【評価方法】 | |

| 【授業科目名】 総合英語Ⅰ | 【担当者】 後藤 玲子 |
|---|---|

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】

日本で現在発行されている英字新聞4紙の記事を、速読可能なレベルにrewrite されたテキストとテープを使って、「速く、要点を把握しながら読む」練習を続け、実際の英字新聞が読めるようになることを目標とする。また、読んだ英語を受容レベル(listening, reading)にとどめず、活用レベル(speaking, writing)への転化を図っていく。

【テキスト・参考書】

*Speed Reading in Action* (『英文速読演習』)
Gary Cantor ・武田修一・高取 清, 1993年, 桐原書店, 1480円。

授 業 計 画

第一回目 — Introduction
- 「読むこと」の多様性について
- 新聞英語について
- 「速く」読むには……

それ以降 毎回テキストを1ユニットずつ学習していく。

Unit 1 : Attitudes About Leisure Changing
〃 2 : Mongolian Wrestlers
〃 3 : The Good, The Bad, And Cholesterol
⋮
〃 23 : Bad Bashing
〃 24 : Asians Celebrate Success At the Winter Olympics

また、途中実際の英字新聞の記事をいくつか取り上げて、読んでいく。

【評価方法】

平常点と試験

| 【授業科目名】　総合英語Ⅰ | 【担当者】　長尾　主税 |
|---|---|

【開講期】　１年前期・１年後期

【授業目標】
読むことに加えて、聴く、話す、そして書くことに関する能力を、「総合」的に高めることを目標にします。

【テキスト・参考書】
開講時に指示します。

**授　業　計　画**

上に掲げた4つの能力は無論個別なものではありません。よってそれぞれを連動させることが肝要です。
リーディング：テキスト以外にも、新聞、雑誌から、歌詞、観光用パンフレット、広告、映画、絵画に至るまでを「読み解いて」いきます。情報を得る読み方と、楽しみを得る読み方の両方を訓練します。
リスニング：英語の音声に接する機会の少ない人には、ふつうにしゃべるネイティヴ・スピーカーの発音が、非常に早口にきこえるかもしれません。これを乗り越え、一連の言葉の集まりが意味を伴って聴こえてくるように、ヴィデオやカセット・テープを用いて反復練習を行います。シャドウイング（英語を聴きながら同時に口に出して言ってみる）の練習法も学びます。
スピーキング：基本的な文法事項をおさえ、決まり文句を覚えたら、とにかく、口に出して言ってみるようにします。簡単な自己紹介からはじめて、できるだけ短いセンテンスの積み重ねで、相手に意志を伝える訓練をします。
ライティング：与えられた日本語を英語に移しかえるだけでなく、自分の考えを簡潔な表現にまとめる訓練をします。

【評価方法】
試験の成績に平常点を加えて評価します。

| 【授業科目名】　総合英語Ⅰ | 【担当者】　森田　眞澄 |
|---|---|

【開講期】　１年前期・１年後期

【授業目標】
ﾋﾞﾃﾞｵ･ﾑｰﾋﾞｰを併用し、教科書（映画のｼﾅﾘｵ）を読むだけではない、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを主眼に置いた授業を行います。映画を原語で味わう楽しさ、外国語を理解する喜びを知って頂きたいと思います。

【テキスト・参考書】
“Best American Screenplays for Students”「総合英語：あの映画、あの名場面」
㈱ﾆｭｰｶﾚﾝﾄｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ発行　2000円

授　業　計　画

受講者は、授業に出る前にﾃｷｽﾄの宿題の部分を必ず読んでおく事が前提のｸﾗｽです。
前期に“It Happened One Night”（或る夜の出来事）、後期に“Gone with the Wind”（風と共に去りぬ）各々の、ﾊｲﾗｲﾄｼｰﾝをｶﾊﾞｰする予定です。

【評価方法】
(1)原則として、毎週、授業中に小ﾃｽﾄを行います。
(2)授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にﾁｪｯｸします。
(Class Participation ----- CP)
(3)映画及び授業に対する感想を、日本語でﾚﾎﾟｰﾄ用紙に１枚以上書いて頂きます。
以上の三点で評価します。
評価の内訳は、(1) --- 80%　(2) --- 20%　(3) --- 期限までに提出すれば、OKです。

| 【授業科目名】　選択語学Ⅰ　英語1·4（ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ） | 【担当者】　森田　眞澄 |
|---|---|

【開講期】　１年前期・１年後期

【授業目標】

会話が成立するためには、先ず相手の言う事が理解できなくてはなりません。基礎的なﾘｽﾆﾝｸﾞを集中的に行い、聞き取る能力を高め、又、授業中の質問、応答を可能な限り英語で行う事により、初歩的なｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ能力の向上も試みます。

【テキスト・参考書】

"Listen First"　Oxford University Press 発行　1330円

"Listen for It --- New Edition"　Oxford University Press 発行　1700円

## 授　業　計　画

前期の前半で"Listen First"を終了し受講者のﾚﾍﾞﾙをみた上で、できるだけ早く"Listen for It"
に移る予定です。

【評価方法】

(1)原則として、毎週、授業中に小ﾃｽﾄを行います。（３回目予定）

(2)授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にﾁｪｯｸします。

(Class Participation ----- CP)

以上の二点で評価 します。

評価の内訳は、(1 ) ----- 90%　(2) ---- 10%

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語2（ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ） | 【担当者】 ﾙﾍﾞﾙ 清子 |
|---|---|
| 【開講期】 1年前期・1年後期 | |
| 【授業目標】 | |
| 【テキスト・参考書】<br>なし | |
| 授 業 計 画 | |
| 教師のｵﾘｼﾞﾅﾙ作業（ｺﾐｭﾆｶﾃｨﾌﾞ・ﾀｽｸ）を２技能（ﾘｽﾆﾝｸﾞとｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ）を使ってこなしてもらう。ｸﾗｽ内発表という形になる。作業は１人、ﾍﾟｱの時あり、複数のｸﾞﾙｰﾌﾟの時もある。作業の内容は、あるﾄﾋﾟｯｸに対しての自分の意見を述べたり、ｽｷｯﾄを製作･発表したり、問題解決したり ---- その他はお楽しみ!<br>選択のｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝなのですべて英語でやる。ﾀｽｸはやさしいﾚﾍﾞﾙから始めるので、英語がへただからという心配無用。ただし、英語を使用してｸﾗｽﾒｰﾄとｺﾐｭﾆｰｹｰﾄするのに抵抗がない人を望む。体育の実技と同じに考えるし、また仲間と一緒に作業することがあるので毎週の出席が望まれる。 | |
| 【評価方法】<br>ｸﾗｽ参加と発表するﾀｽｸの内容と質によって評価するので前期･後期ﾃｽﾄなし。 | |

| 【授業科目名】　選択語学Ⅰ　英語3 （ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｰｹｰｼｮﾝ） | 【担当者】　清野　茂子 |
|---|---|

【開講期】　1年前期・1年後期

【授業目標】
ｵｰﾗﾙ･ｺﾐｭﾆｰｹｰｼｮﾝを主体に、英語の知識を整理統合し、反復練習をしながら、基礎をしっかり身につけることを目的とする。

【テキスト・参考書】
未定

授　業　計　画

【評価方法】

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語５（フィクション講読） | 【担当者】 中島好伸 |
|---|---|

**【開講期】 １年前期・１年後期**

【授業目標】

英米の小説（なるべく平易な現代小説）を原文で読むことで、語彙力を高めながら英語という言語の豊かさを味わい、その言語によって作られた作品世界の独自性を味わえるようにする。

【テキスト・参考書】

未定

授 業 計 画

小説を読むのは楽しいものです。外国の小説を翻訳で読むのも楽しさにおいては同じです。しかし、翻訳で読むと、訳者の意志が反映されることは言うまでもなく、原文の持つ味わいも失われていることを覚えておきましょう。できれば、原文で読みたいものです。そのためには、慣れるまで多少の努力が必要になります。この授業は、この多少の努力に対して援助しようとするものです。読もうとする意志があれば、だれでも必ず読めるようになるものです。

授業では、毎回レポーターを決めます。最初のうちは２、３人で、一人の分担は２ページから始めます。レポーターは細かく辞書を引いて、内容を要約し、それをノートにまとめておきます。授業でそれを発表してもらい、受講生みんなで内容の討論を行います。慣れて来たら、一人当たりのレポートの分量も増やし、レポーターの人数も増やして行こうと思います。

これで一年間に幾つの小説を読むことができるでしょうか。

年に数回のレポートも書いてもらいます。

【評価方法】

年に数回のレポートと、授業時のレポーターの内容に出席を加味して評価します。

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ　英語６（フィクション講読） | 【担当者】 後藤　玲子 |
|---|---|

【開講期】　1年前期・1年後期

【授業目標】

英米文学の中から珠玉の短編小説８編が収めてあるテキストを使って、ていねいに英文を読みながら、人間の真実の瞬間における様々な愛の形について考えていく。

【テキスト・参考書】

*Aspects of Love*　（『愛の諸相－鑑賞から表現へ』）
Maureen Lamarche・野谷啓二，1995年，朝日出版社，1700円

授　業　計　画

前・後期それぞれ４編ずつディスカッションをしながら読んでいく。収められた作品は以下の通り。

- "The Story of an Hour" by Kate Chopin
- "A Telephone Call" by Dorothy Parker
- "Lispeth" by Rudyard Kipling
- "Sweetheart Sweetheart Sweetheart" by William Saroyan
- "Breakfast" by John Steinbeck
- "Up in Michigan" by Ernest Hemingway
- "Roman Fever (1)" by Edith Wharton
- 〃　(2)"　〃

また、文学作品から映画化されたものの中から、前・後期１本ずつ映画も見てみたい。

- *East of Eden*　（『エデンの東』），1955年，原作 John Steinbeck,　監督 Elia Kazan
- *Age of Innocence*　（『無垢の時代』），1993年、原作 Edith Wharton, 監督 Martin Scosese

を予定しているが，要望があれば変更も可能。

【評価方法】

平常点とレポート

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ　英語７（ライティング） | 【担当者】 後藤　玲子 |
|---|---|
| 【開講期】 １年前期・１年後期 | |

【授業目標】

今日の社会において議論を呼んでいる話題について書かれた英文を読んで、それらの諸問題に対する自分の意見を英語で表現する力を養う。

【テキスト・参考書】

*Viewpoints: For and Against*　（『自分の意見のまとめ』）
Vance E: Johnson, 1995年, 金星堂, 1700円。

## 授　業　計　画

最近よく「発信型の英語」という言葉を耳にしますが、「発信型の英語」とはどういうものなのでしょう。それは、つまり英語を聞いて理解できる・読んで理解できるという受容のレベルからさらに一歩進み、そこで理解したメッセージに対して、自分のメッセージを言葉で語り、あるいは文字に書いて相手に伝えられる英語力であろうかと私は考えます。
一般に、前者、つまり聞いて、または読んでわかる言葉を「受容言語」、後者、つまり発音できるまたはその文字を書ける言葉を「活用言語」と呼ばれ、その比率は４対１程度と考えられるという心理言語学からのデータがあります。けれども、果たしてこれまで蓄積してきた語いの４分の１を実際に活用できるかと問われれば答えは“No”かもしれません。その理由の１つは、ただ単に、自分で主体的に自分の言いたいことを表現する練習をあまりやってこなかった、ということにあると思います。
「喫煙は公共の場では禁止すべきか？」、「日本ではセクハラは頻繁に起こっているのか？」、「お見合結婚は結婚するための良い方法か？」、「日本の学校において、歴史教育は十分に行なわれているか？」「日本において外国人は差別されているか？」こういった今日的な話題について、まずは問題点を理解し、次にその賛否両方の意見をふまえ、最後に自分の意見をまとめて発表するというプロセスで授業を進めていきます。
さらなるディスカッションに発展することをめざしつつ。

【評価方法】

平常点と試験

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語8 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) | 【担当者】 清野 茂子 |
|---|---|

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
自分の思っていることを英語で考え、英語で表現して、積極的にｺﾐｭﾆｰｼｮﾝを図ろうとする態度を育てたい。

【テキスト・参考書】
未定

## 授 業 計 画

【評価方法】

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ（独語Ⅰ ） | 【担当者】 正路 妙子 |
| --- | --- |

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】

基礎的な文法をマスターし、ドイツ語を聞き、話し、読む力を養うことを目指す。

【テキスト・参考書】

信岡 ・ドイツの言葉と社会事情 （郁文社）

ドイツ語を聞いてはなして （白水社）

## 授 業 計 画

2時間続きの授業のうち、前半で文字と発音の関係をしっかり学び、テープを使って発音のトレーニングを行い、発音記号なしで読めるように指導する。その後文法説明に入っていくわけだが、動詞の活用と冠詞類の用法の説明に重点を置いて授業く進めていく。文法の説明の後に、まとめとして付いている問題は自宅でまえもって学習してくること。

後半で

1・基礎的な会話のパターン練習を最初に行う。

2・続いて、テープを聴きながら、どの程度に内容が把握できたかどうかを確認する問題に取り組む。

3・最後にまとめとして、今まで出てきた単語をまとめ、語彙を拡大するための作を行なう。

【評価方法】

平常の授業の中で行なう文法確認テストと定期試験の成績を総合して判定する。

| 【授業科目名】 選択語学Ⅰ（仏語Ⅰ） | 【担当者】 村山 知恵 |
|---|---|

**【開講期】** 1年前期・1年後期

**【授業目標】**
ﾌﾗﾝｽ語の初歩を楽しくﾏｽﾀｰできるようにする。

**【テキスト・参考書】**
"Bien venue eu France" Tome 1
Hatier Didier

## 授　業　計　画

1）授業の最初にﾋﾞﾃﾞｵを見せ、聞き、発音を練習する。
2）文法の説明はﾌﾟﾘﾝﾄ
3）練習問題もﾌﾟﾘﾝﾄ

**【評価方法】**
前期、後期とも筆記試験

| 【授業科目名】　スポーツA（テニス） | 【担当者】　岡田　光弘 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】

生涯スポーツのために必要となる基本的な技術、知識、態度を自ら学ぶこと

【テキスト・参考書】

テニス教本　（社）日本プロテニス協会 編
新・テニスの科学　日本テニス研究会／テニスジャーナル 編

授　業　計　画

1. フォアハンド・ボレー
2. バックハンド・ボレー
3. フォアハンド・ストローク
4. バックハンド・ストローク
5. サービス
6. レシーブ
7. オーバーヘッド
8. バリエーション・ショット

等の各技術を学んだのち
ゲームの進行法・ルール
実際のゲーム
と順次進んでいく。

【評価方法】
技術　40%
態度　40%
知識　20%　とし、欠席、遅刻、早退分を減点する。知識については小テストを行なう。

| 【授業科目名】 スポーツA（卓球とバドミントン） | 【担当者】 松岡　由紀子 |
|---|---|
| 【開講期】 1年前期　　後期） | |

【授業目標】
- スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。
- 運動技能と知識の習得及び態度の育成。

【テキスト・参考書】

授　業　計　画

卓球とバドミントン

- 卓球
  技能練習とゲーム
  ①ボール慣れ
  ②素振りと正しいフットワーク
  ③フォアトップ打ち、バックショート、ツッツキの練習
  ④どのコースでも打てるようにする
  ⑤正規のサービスが出せるようにする（変化サービスも）
  ⑥各種打法の練習
  ⑦ゲームとルール、審判法
- バドミントン
  技能練習とゲーム
  ①グリップとシャトル慣れ
  ②ストロークの練習（オーバーヘッドストローク、スマッシュ、バックハンドストローク）
  ③サービスの練習（ロングハイサービス、ショートサービス）
  ④集団技能の練習
  ⑤ゲームとルール、審判法

【評価方法】
平常点とゲーム中に採点

| 【授業科目名】 スポーツA（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ） | 【担当者】 池森　隆虎 |
|---|---|

**【開講期】** 1年後期

**【授業目標】**

6人制バレーボールをルールに則って楽しく行えるようになることを目標とする。

**【テキスト・参考書】**

## 授　業　計　画

基本動作の説明と技術練習
（ｵｰﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞ・ｱﾝﾀﾞｰﾊﾝﾄﾞ のﾚｼｰﾌﾞ及びｽﾊﾟｲｸ、ｻｰﾋﾞｽ）
ルール及び基本的作戦の説明と実践
（ゲーム進行､得点、審判法、ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ）
ゲームの実践
（リーグ戦）

**【評価方法】**

出席を重視、その他として参加態度、習熟度、技術度、等を加点対象として考慮する。

| 【授業科目名】 スポーツＡ（エアロビクス） | 【担当者】 高野　牧子 |
|---|---|

【開講期】　１年後期

【授業目標】　「エアロビック・ダンス」を取り上げ、自分の身体を正しく認識し、各自のペースで楽しく効率的に、健康増進と体力増強をはかるとともに、生涯にわたって積極的に身体活動を行なう態度の育成を目標とする。さらに、ダンスの特性を活かし、自分の表現手段として動きの創造性を養っていく。

【テキスト・参考書】　テキスト　使用しない
参考書　ケネス・Ｈ・クーパー，加藤橘夫監修『エアロビクス』ベースボール・マガジン社

## 授　業　計　画

「エアロビクス」とは本来、アメリカのケネス・クーパー博士が提唱した有酸素運動によるトレーニング法であり、1970年代ダンスと結び付き、エアロビック・ダンスとして急速に展開した。心肺機能を高めるだけでなく、柔軟性や調整力を鍛える効果がある。授業では心拍数と運動強度を理解した上で、各自の目標心拍数を算出し、運動を行なっていく。またより効果を高める為に、単に動きを模倣するだけでなく、実際に動かしている自分の筋肉を知覚し、さらに自分の動きをＶＴＲで見ることにより、自分の身体を正しく認識し、改善する様、努める。
授業はリズムにのって楽しく動くことを基本に以下の様に進めていく。

①「エアロビクス」の知識　心拍数と運動強度、目標心拍数など
②基本的なステップの習得
③ＶＴＲによる基本的ステップの確認
④応用ステップの習得
⑤ＶＴＲによる応用ステップの確認
⑥ステップの創作・練習
⑦発表・ＶＴＲ

【評価方法】
①平常点（出席点及び活動態度・関心・意欲）　を重視し、
②実技発表点　を20点程度まで加算する。

【授業科目名】 スポーツB（キャンプ） | 【担当者】 村田　務

【開講期】 7月集中

【授業目標】

自然環境の中での集団活動を通して、健康的な生活を営むための能力と態度を育てる。

・野外活動に必要な知識と技能及び判断能力
・健康的で強靭な「こころ」と「からだ」
・自然を親しみ愛好する態度、野外活動への参加意欲

【テキスト・参考書】

参考書：野外レク研究会、レクリエーションキャンプ 、成美堂.
　　　：野外レク研究会、野外レクリエーション 、成美堂.
　　　：山崎安治、登山、旺文社.

## 授　業　計　画

生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然を活用した野外活動は、健康の増進やレクリェーションとしての効果が極めて大である。しかし、野外での活動は、さまざまな自然的環境の影響を受けやすく、事故災害にもつながりやすい特性をもっている。

そこで、授業では、特に、野外活動における適切な判断能力の育成と将来に向けての意欲つくりに留意して実施したい。

| | | |
|---|---|---|
| 1、日　程 | 1995年7月12日(水) 9:00～12:00am | 事前指導 |
| | 26日(水)～29日(土) | 野外活動 |
| | 29日(土) | 事後指導 |
| 2、場　所 | 学内、「山のふるさと村キャンプ場」（東京都奥多摩町） | |
| 3、参加者 | 学生28名、教員3名 | |
| 4、内　容 | 事前指導：運営組織・装備・食事等の理解と計画・準備 | |
| | 第１日目：テント設営、食事 | |
| | 第２日目：登山、食事 | |
| | 第３日目：ネイチャートレイル、キャンプファイアー、食事 | |
| | 第４日目：食事、テント撤収 | |
| | 事後指導：装備の点検・補修、反省評価 | |
| 5、費　用 | 約8,000円（食料費、交通費等） | |

【評価方法】

平常試験（平常点、実技等）

| 【授業科目名】 健康科学 | 【担当者】 村田　務 |
|---|---|

【開講期】 1年前期

【授業目標】

人間性豊かな健康生活を確立するために必要な能力と態度を育てる。

・今日の健康問題について
・健康の成立要因について
・健康設計と健康処方について

【テキスト・参考書】

テキスト：宇土正彦・正木健雄監修・青年の健康と運動、現代教育社、1995年.
参考書　：師岡孝次編、長寿の健康科学、日本プランニングセンター、1994年.
　　　　：大森正英他著：健康の科学、中央法規、1992年. 他

授　業　計　画

人間性豊かな健康生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会文化的な環境に大きな影響をうけており、「ひと」の心理的側面、社会的側面、及び文化的側面を抜きにしては考えられない。

授業では、このような観点から、健康科学（疾病予防と健康増進の科学）の知見や考え方について解説する。

１、健康科学の概念
２、現代人の生活と健康
３、疾病の疫学と健康の成立
４、主体と健康
５、環境と健康
６、保健医療体制と健康
７、保健行動科学の考え方
８、健康問題Ⅰ（成人病）
９、健康問題Ⅱ（性の健康問題）
１０、健康問題Ⅲ（こころの健康問題）
１１、健康問題Ⅳ（女性の健康問題）
１２、健康生活の設計と処方

【評価方法】

定期試験（ペーパーテスト）及び平常試験（レポート、平常点）

| 【授業科目名】　スポーツ科学 | 【担当者】　岡田　光弘 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

スポーツを楽しみ健やかな生活を営むためのスポーツ科学的教養を自ら学ぶこと

【テキスト・参考書】

テニス教本　（社）日本プロテニス協会 編

授　業　計　画

1.スポーツ科学とスポーツ実践
2.スポーツ科学と観客
3.テニスについて（I）
4.テニスについて（II）
5.武道について
6.芸能について
7.サッカーのエスノメソドロジー
8.ヒーロー・インタビューの会話分析
等 主に社会学的視点からスポーツ現象を扱う。

【評価方法】

各回に提出するレポートをベースに知識，態度を評価する。

# 専門教育科目（１年）

| **【授業科目名】** 心理学序説 | **【担当者】** 神田信彦 |
|---|---|

**【開講期】** 1年前期

**【授業目標】**

心理学の基本的用語や方法論を学び，心理学的な視点を身につける．

**【テキスト・参考書】**

テキスト：水口礼治『市民のための心理学』（福村出版）
参考書　：随時紹介する

## 授　業　計　画

これから2年間にわたり学んでいく様々な領域の心理学についておおよその全体像を提示し、個個の領域の心理学に対する理解の助けとしたい。

・以下の内容を中心に進めていく。

Ⅰ．心理学とは
　1．心理学の目標
　2．心理学の方法

Ⅱ．行動の理解
　1．学習と記憶
　2．言語と思考
　3．知覚と認知
　4．動機づけと情動

Ⅲ．適応のメカニズム
　1．人格
　2．ストレスと対処

**【評価方法】** 数回の小テスト及び定期試験の成績による

| 【授業科目名】　青年心理学 | 【担当者】 林　　潔 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】
青年期の行動様式について学習する。

【テキスト・参考書】
未定：別途連絡
指定図書：図書館

授　業　計　画

1. 青年心理学の位置づけ
教育心理学の一分野としての発達心理学。さらにその一分野としての青年心理学。
2. 発達段階としての青年期
3. 発達課題とidentity
4. 青年期へのアプローチとその特色
5. libidoの発達と防衛機制：精神分析的アプローチ
6. 情意の発達
7. 愛情をめぐって
8. 価値観をめぐる問題
9. 適応障害

【評価方法】
平常点，中間試験，期末試験。

| 【授業科目名】発達心理学 | 【担当者】神田信彦 |
|---|---|
| 【開講期】　1年後期 | |

**【授業目標】**

心理的発達のプロセスを知り，人間の理解を深める

**【テキスト・参考書】**

**授　業　計　画**

前半では，胎生期から青年期までの各発達段階の全体的な流れを中心に講義を行う。

後半では，認知，言語・思考，情緒や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスについて講義を行う．講義の進行状況によっては，成人期及び老年期についても取り上げたい。

1．発達心理学とは
　・発達の原理
　・発達段階と発達課題
2．胎生期と乳児期
　・胎生期の発達の特徴
　・乳児期心身の発達
3．幼児期
　・幼児期の心身の発達
4．学童期
　・学童期の心身の発達
5．青年期（1)青年期前期
　・思春期の心理
6．青年期（2)青年期中・後期
　・アイデンティティの再構築
7．認知の発達
8．言語・思考の発達
9．情緒の発達
10．社会性の発達

**【評価方法】**

定期試験の成績による

| 【授業科目名】 条件づけ | 【担当者】 荻野七重 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】 人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解させることを目的とする。

【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。なお、このテキストは２年前期の「記憶と思考」のテキストとしても用いることがある。
「学習心理学」行動と認知　山内・春木編著　（サイエンス社）

## 授　業　計　画

１．学習とはなにか

２．古典的条件づけ

始めにＩ．Ｐ．パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。

テキスト　１章

３．オペラント条件づけ

Ｂ．Ｆ．スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。

テキスト　２章

４．社会的学習

自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。

テキスト　４章

【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。

| 【授業科目名】　性格の形成 | 【担当者】　穂苅　千恵 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

「自分らしさ」を各自がある程度実感できるまで、どのような過程を経て性格が形成されていくのか。従来の理論はもちろん受講生や講師の体験をふまえ、探索的に理解していく。

【テキスト・参考書】

テキスト；瀧本孝雄他編『性格の心理』（福村出版）
＊必要に応じて、プリントを配布する予定。

## 授　業　計　画

「自我同一性Identity」は青年期の発達課題と言われているが、これは輸入概念であるため、日本人にはもうひとつ「ピンとこない」感覚である。私達にとって「自分らしさ」とは何であろうか。それは、いつ頃から、どのような形で意識されるのか。それは、体質や環境によって、どのように規定されるのか。

講義では、性格形成に関する代表的な考えも紹介するが、同時に受講生の素朴な意見・疑問・ひらめきを尊重しながら、私達に「ピンとくる」知見を探してみたいと思う。

【評価方法】　出席状況と、レポートあるいは記述試験によって評価を行う。

| 【授業科目名】　社会心理学 | 【担当者】　倉澤寿之 |
|---|---|
| 【開講期】　1年前期 | |

**【授業目標】**

人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では自己意識、社会的影響、対人間距離などのトピックを通して、他者との間に存在する様々な問題を社会心理学的な視点から捉えなおすことをめざす。

**【テキスト・参考書】**

必要に応じて授業の際に紹介する。

**授　業　計　画**

1．自己意識
- 自己意識とは
- 自己意識の発生
- 自己意識形成の要因
- 自己客体視
- 自己客体視の影響
- 自己知覚
- 自己知覚理論と認知的不協和理論
- 帰属理論とその応用

2．社会的影響（承諾を導く5原則＋1）
- 「フット・イン・ザ・ドア」「ローボール」テクニックと一貫性の原理
- 「ドア・イン・ザ・フェィス」テクニックと返報性の原理
- 権威に対する服従
- 自分と似た者への同調
- 心理的リアクタンスと希少性の原理
- 好意の利用

3．対人間距離
- パーソナルスペース（個人空間）
- パーソナルスペースの特徴と大きさを左右する要因
- 動物のパーソナルスペース
- なわばりとパーソナルスペース
- 関係、活動の種類と距離

**【評価方法】**

期末試験（多肢選択形式、持ち込み不可）による。

| 【授業科目名】 生理心理学 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
|---|---|
| 【開講期】 1年後期 | |

【授業目標】

脳を中心とした神経系の構造と機能の基礎について学習する。このことを通して、心が成立する背景には複雑な脳内のプロセスが存在していることを理解し、神経系に生ずる物質的な変化が、私たちの心にどのような影響をもたらすのかを知る。

【参考書】

森　昭胤、『脳 100の新知識』、講談社、1991
フロイド・E・ブルーム　他、『脳の探検』、講談社、1987
時実利彦、『脳の話』、岩波新書（青版）、1962
久保田　競　他、『脳の手帖』、講談社、1985

## 授　業　計　画

まず神経系の分類と構造に関する知識を習得する。次に、神経細胞の発達的側面、および働きについて学ぶ。また神経細胞同士の情報伝達方法を学習し、環境から受ける刺激がどのように脳に伝えられ、どのように反応しているのか、あるいはどのように貯えられる可能性があるのかについて理解する。こうした知識を基礎に、実験例や脳損傷例などから脳内中枢機能についての代表的なものを学ぶ。さらに、神経細胞の情報伝達に必要な物質的基盤について学習し、心の病に対する生物学的なアプローチや、心に作用する薬物に対する基礎的な理解を得るようにする。

以下の項目に従って講義を進める予定である。

・心の座をもとめて
　[心身二元論、骨相学、機能局在論、神経回路]
・神経系を作り上げるもの
　[ニューロン、シナプス、グリア、保護組織、インパルス]
・インパルスの伝導とシナプス伝達
　[閾値、Na－Kポンプ、跳躍伝導、全か無の法則、シナプス後電位、促通と抑制]
・末梢神経系の分類と構造
　[脊髄神経、脳神経、体性神経系、自律神経系]
・中枢神経系の分類と構造
　[脊髄、脳幹、小脳、間脳、基底核、辺縁系、大脳皮質]
・反射中枢　[脊髄反射、脳幹反射]
・脳の機能地図
　[感覚野、運動野、聴覚野、視覚野]
・脳の高次機能
　[失認、失行、失語、分割脳、健忘、連合野の機能]
・神経系に働く物質
　[神経伝達物質、イオンチャネル、向精神薬]
・神経系の可塑性と機能再生
　[長期増強、発芽、神経成長因子(NGF)、膜タンパク質、代償]

【評価方法】

平常点として授業中の提出物50点と定期試験50点の合計により評価する。

| 【授業科目名】　基礎技法演習 | 【担当者】　菅本　康之 |
|---|---|
| 【開講期】　1年前期 | |

【授業目標】

女性の心理のつくられ方を「セラピー」と「文化論」の二つの視点から探る。これまでの心理学が持っていた男性中主義的な問題点を文化分析を通してあきらかにし、各自がその解決の方向を考える出発点とする。

【テキスト・参考書】

テキスト：L.アイケンバウム十S.オーバック『フェミニスト・セラピー』（新水社）

『現代のエスプリ 1995/2 <女性の発達>』（至文堂）

参考書：適宜紹介する

## 授　業　計　画

かつてフランスの作家シモーヌ・ド・ボーヴォワールは「ひとは女に生まれるのではなく、女になるのである」といいましたが、我々は、日々の生活なかで、ともすればそのことを忘れがちになります。つまり、ひとは生物学的・生理学的な意味での「女」、あるいは「男」に生まれたから「女」や「男」になるのではないことになかなか気がつきません。ところが、実際にはひとが女や男になるのは家族や文化（社会）を通してなのです。たとえば、そのことは、時代や文化が変われば「女らしさ」や「男らしさ」の変わってくることでわかります。この授業では、ひとが女になる（あるいは男になる）過程に内在するさまざまな問題を考察することを通して「セラピー」と「心理学」を見たいと思っています。

(1)授業計画と評価の基準・方法の説明
　学生の自己紹介
　※自己紹介を通して、自分というものを現状においてどう評価しているかを知る
(2)フェミニスト・セラピーの位置づけ
　<対象関係理論とジェンダー・アイデンティティ>
　※ジェンダー・アイデンティティとは何か、そしてそれが社会的文脈の中で成立していることを理解する
(3)女らしさの組立て　その1
　<母＝娘関係のなかで形成される心理>
　※自分の母娘関係を対象化する
(4)ビデオ観賞
　『エミリーの未来』（予定）
　※映画を通して母娘の関係を理解する
(5)女らしさの組立て　その2
　<文化と性　日本のセクシャルハラスメントの現状>
　※自分達が生きている社会がどういう社会であるかを理解する
(6)女らしさ（男らしさ）の組立て　その3
　<文化と性　メディア・レイプ>
　※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する
(7)女らしさ（男らしさ）の組立て　その4
　<文化と性　映画におけるジェンダー>
　※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する

NO. 1

| 【授業科目名】基礎技法演習 | 【担当者】菅本　康之 |
|---|---|

## 授　業　計　画

(8)フェミニスト・セラピー　その1
<セクシャル・アビューズの体験記を読む>
※体験記に対し持った感想を通して自己を理解する
(9)フェミニスト・セラピー　その2
<セラピストがやるべきこと>
※セラピストに必要な最低限の技法を理解する
(10)グループ討論　未来に向けて
※グループ討論で、各自の意見を出し合う
(11)グループ討論の内容の発表と批判
※グループの意見の発表をしあうとともに、それへの批判をする
(12)まとめ
※女性心理と文化の関係を理解できたか

【評価方法】

リポートと授業時の感想文

NO.2

| 【授業科目名】　実験計画法 | 【担当者】八木孝彦 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】

現代の心理学研究において実験のしめる役割は大きい。この授業では、「実験とはなにか？」から始めて、基礎的な用語、基本的計画、そして実験計画の陥穽等について学習する。

【テキスト・参考書】

教科書　ソルソーR.L.　&　ジョンソンH.H.　（浅井邦二監訳）「心理学実験計画入門」学芸社

授　業　計　画

I　多数被験者実験
- (1)　実験計画の論理
- (2)　従属変数と独立変数
- (3)　実験群と統制群
- (4)　独立被験者計画
- (5)　被験者釣り合わせ計画
- (6)　要因計画
- (7)　統制の諸問題
- (8)　実験計画批判

II　少数被験者実験
- (1)　少数被験者実験の歴史
- (2)　少数被験者実験の特長
- (3)　標的行動と観察

III　試験問題参考

【評価方法】

筆記試験

| 【授業科目名】 心理学演習Ⅰ | 【担当者】荻野、金子、神田、倉澤 多喜乃、八木、大木、中丸 |
|---|---|

【開講期】　1年前期

【授業目標】
基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験手法、データの収拾と処理方法、数量化の工夫、レポートのまとめ方、などを習得する。

【テキスト・参考書】
各実験毎に実験方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布する。

授　業　計　画

15～16人のグループに別れて、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。担当教員から実験の目的と方法について説明を受けた上で、お互いに実験者と被験者になってデータを集める。実験は、1回の授業枠で終わる測定を中心とした簡単なシリーズ(実験A)と、条件設定を少し複雑にして2週にわたって実験を行うシリーズ(実験B)から構成される。実験Aでは測定結果を中心とした提出物を、実験Bの場合は各回ごとに教員から与えられる指示に従って実験レポートを作成し、次回の実験日の前日までに提出する。

実験と課題の提出が連続するので、特別の事情がない限り休んでしまうわないように注意して受講する必要がある。

実験のテーマとして、重量弁別、反応時間、触2点閾、運動学習、精神テンポ、連合学習、系列位置効果、大きさの恒常性、同心円錯視、要求水準、色名呼称、などを取り上げる予定である。グループ毎にテーマを入れ替えて実験を進めるためにグループで日程表が異なる。そのために第1回目のオリエンテーションで配布される日程表にしたがってグループ毎に教室に別れて授業を受けることになる。

全体の予定は以下の通り。

第 1回　オリエンテーション、レポートの書き方
第 2回　導入実験 <ミューラー・リャー錯視>
第 3回　実験A-1
第 4回　実験A-2
第 5回　実験B-1 その1
第 6回　実験B-1 その2
第 7回　実験A-3
第 8回　レポート講評　<実験目的の理解、データの表現、書き方の注意など>
第 9回　実験B-2 その1
第10回　実験B-2 その2
第11回　実験A-4
第12回　レポート講評　<実験結果の理解と考察、演習Ⅱに向けて>

【評価方法】
各実験に参加し、作成した提出物の平均点を基本として評価する。

| 【授業科目名】 心理学演習Ⅱ | 【担当者】 荻野、金子、神田、倉澤 多喜乃、八木、大木、中丸 |
|---|---|
| 【開講期】 1年後期 | |

【授業目標】

演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、実験室に限定されない場面での調査やテスト、動物実験などを扱う。調査やテストでは、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法を学習する。また、動物の行動観察実験を経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する.

【テキスト・参考書】

各実験毎に実験方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布する。

授　業　計　画

進め方は基本的に演習Ⅰと同様にグループに別れて実験／調査等を行い、レポートにまとめて提出することを繰す。ただし、演習Ⅱでは2週間で1つのテーマを扱う。

扱うテーマは、ソシオメトリー、項目分析、ＳＤ法、オペラント条件づけ、心理テストの5テーマである。

提出するレポートは演習Ⅰで学んだ書き方にしたがって、実験／調査目的をよく理解した上で、各自が完成したものを提出することが求められる。

全体の予定は以下の通り。

第 1回　オリエンテーション、演習Ⅱで求められる内容について
第 2回　実験／調査1　その1
第 3回　実験／調査1　その2
第 4回　実験／調査2　その1
第 5回　実験／調査2　その2
第 6回　講評
第 7回　実験／調査3　その1
第 8回　実験／調査3　その2
第 9回　講評および心理テスト
第10回　実験／調査4　その1
第11回　実験／調査4　その2
第12回　2年生卒業研究発表会参加

【評価方法】

各実験に参加し、作成したレポートの平均点を基本として評価する。

| 【授業科目名】　文献研究 | 【担当者】　池田　善英 |
|---|---|

【開講期】　1年後期

【授業目標】

①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。

②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。

【テキスト・参考書】

テキスト：三井宏隆「対人関係の心理学」（講談社ブルーバックス）

参 考 書：日向茂雄「発表する技術」（ごま書房）

## 授　業　計　画

テキストは実験社会心理学の立場から書かれたものです。実験社会心理学は人が人と接するときの振舞い方を、実験的な手法を使って明らかにする学問です。そのため実験や調査の実例が具体的に紹介されています。そこでは振舞い方を数値に置き換え、図や表として表しています。

授業ではこの領域の理論を検討しますが、受講生の皆さんは身近な経験と結び付けて考えて下さい。その理論で納得のいくこともあるでしょうし、「ちょっと違うな」と感じることもあるでしょう。ではどこが、どう違うのでしょうか。それが分かったとき、第１の目標を達成したことになります。

テキストを読み進めるに当たって、受講生の皆さんには分担して報告してもらいます。要領よく報告することは、なかなか難しいものです。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって分かりやすく説明して下さい。その活動を通じて、第２の目標も達成できるでしょう。

なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。そこで適当に話題をピックアップしながら進める予定です。一方で必要に応じて別の資料も紹介したいと思います。また授業時の活動を重視しますし、受講生の皆さんが積極的に参加してくれるよう期待します。以下の項目を中心に進めます。

| | |
|---|---|
| ①ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ | ⑥ジェンダー |
| ②社会 | ⑦偏見 |
| ③世間 | ⑧感情 |
| ④組織 | ⑨ﾉﾝ･ﾊﾞｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ |
| ⑤規範 | ⑩集団 |

【評価方法】

①レポート　②平常点

| 【授業科目名】 文献研究 | 【担当者】 神田信彦 |
|---|---|

**【開講期】** 1年後期

**【授業目標】**
教育・臨床心理学を扱った文献を輪読し、理解を深めると同時に心理学的なものの見方を養う。

**【テキスト・参考書】**
未定（後日掲示する）。

## 授　業　計　画

各回ごとに予め決められた発表担当者が、担当部分についての要約を作成した上で発表を行う。それに基づいて各自が意見や反論を行い。この作業を通じてテーマへの理解を深めるとともに、考える力を養って行く。

また、各回とも誰もが必ず自発的に意見を表明することを期待する。

**【評価方法】**
平常点による

| 【授業科目名】　文献研究 | 【担当者】　倉澤寿之 |
|---|---|

**【開講期】**　１年後期

**【授業目標】**

対人心理学に関する最新の研究成果を概観しながら、専門の文献を読む力と、研究を批判的に考察する力を養う。

**【テキスト・参考書】**

（テキスト）松井豊（編）「対人心理学の最前線」サイエンス社

**授　業　計　画**

受講生はテキストの中の１章をそれぞれ担当し、担当者は担当部分について予め読み、必要なことを調べ、発表する。発表する際には各自、概要のメモ(レジュメ)を作り、配布する。発表に続いて全員で発表内容に対する質疑応答、討論をおこなう。

章建ては次の通り。

| | |
|---|---|
| １．恋をする | ２．友人とかかわる |
| ３．親しくなる | ４．愛着を感じる |
| ５．自分の話をする | ６．恥じらう |
| ７．個性を示す | ８．電話をかける |
| ９．人の印象をもつ | １０．血液型から人をみる |
| １１．障害者と接する | １２．「信念」に従う |
| １３．人を思いやる | １４．人と争う |
| １５．人に影響を与える | １６．ユーモアをもつ |
| １７．刺激を求める | １８．母親らしくなる |
| １９．対人関係の病い | ２０．夢を理解する |

**【評価方法】**

発表の良否、討論への参加度を考慮して評価する。

| 【授業科目名】 文献研究 | 【担当者】 林　潔 |
|---|---|

**【開講期】** 1年後期

**【授業目標】**

心理学関係の文献に親しむことによって，この領域の理解を深める。

**【テキスト・参考書】**

中西信男，他　「ストレス克服のためのカウンセリング」　有斐閣

**授　業　計　画**

1.ストレスとは
2.ストレスと性格
3.ストレス反応をとらえる
4.ストレス対処法
5.心の健康について

**【評価方法】**

平常点，レポート

| 【授業科目名】 文献研究 | 【担当者】八木孝彦 |
|---|---|

【開講期】 1年後期

【授業目標】

この本は人類学者の書いた「顔」の本である。心理学的「顔」研究の中心テーマは「表情」であるが、その基礎として「生物学的に顔とはなにか？」「どこからどこまでが顔？」などなど知識の底辺を広げておきたい。

【テキスト・参考書】

香原志勢 「顔の本」 中公文庫

授 業 計 画

Ⅰ なぜ顔が気になるか
Ⅱ 顔のたどった道
Ⅲ 顔の部分
Ⅳ 表情の仕組みを探る
Ⅴ 見られるものとしての顔
Ⅵ 顔と心
Ⅶ 日本人の顔と表情
Ⅷ 顔を装う
Ⅸ 顔に託すもの

以上はテキストの目次である。これを順番に輪読しながら、若干の解説を加えながら進行する。また顔に関する心理学的研究をいくつも紹介するので、各自が興味を持ったテーマについて調べて、報告・議論するスタイルでおこなう。

【評価方法】

授業中に報告するリポート

| 【授業科目名】 心理統計Ⅰ | 【担当者】 荻野七重 |
|---|---|

**【開講期】** 1年前期

**【授業目標】** 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。
記述統計学の習得。

**【テキスト・参考書】** テキストとして下記のものを用いる。
「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 （サイエンス社）
6章まで 。7章以降は心理統計Ⅱで使われる。

## 授 業 計 画

1章 統計法と測定値

2章 度数分布と統計図表

3章 中心傾向の測度

4章 得点の散布度

5章 正規分布と相対的位置

6章 直線相関と直線回帰

授業では電卓を用いる。機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。

**【評価方法】** 中間テストと定期試験の結果で評価する。 電卓の持ち込みは可。

| **【授業科目名】** 心理統計Ⅱ | **【担当者】** 荻野七重 |
|---|---|

**【開講期】** 1年後期

**【授業目標】** 心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得させる。

**【テキスト・参考書】** テキストとして、心理統計Ⅰで用いたものを引き続き使用する。
「心理と教育のための統計法」　山内光哉　（サイエンス社）
７章から

**授　業　計　画**

７章　母集団と標本

８章　統計的仮説の検定と区間推定　理論と用語

９章　２つの平均の差の検定と区間推定

１０章　分散分析入門　１要因の場合

１１章　より複雑な分散分析　要因計画

１２章　カイ２乗検定

１３章　順位による統計法

１４章　ピアスンの　$r$　の検定と種々な相関係数

１２章までを重視して授業を行う。従って１３章及び１４章は授業の様子により、省略する事もある。

**【評価方法】** 中間テスト（複数回）と定期試験とを行う。教科書及び電卓の持ち込み可。

**【授業科目名】** 心理統計Ⅱ **【担当者】** 金子　尚弘

**【開講期】** 1年後期

**【授業目標】**

心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方と、用い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。

**【テキスト・参考書】**

心理・教育のための統計法　山内　光哉著　サイエンス社

## 授　業　計　画

1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。

2、7章　母集団と標本　　母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量
標準誤差－－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること

3、8章　統計的仮説の検定と区間推定
統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性
母分散がわかっている場合の仮説検定
母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か
平均値の区間推定－－母集団の平均値はどれくらいか

4、9章　2つの平均値の差の検定と区間推定
独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定
関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定

5、10章　分散分析入門－－－1要因の場合
分散分析における仮定
2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合）
2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合）

6、11章　より複雑な分散分析－－－要因計画
要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈

7、12章　カイ2乗検定
カイ2乗を用いたさまざまな検定
独立性の検定－－生まれ順は政治的態度と関係があるか
比率の等質性の検定－－2つの集団の年齢分布は等しいか

**【評価方法】**

毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。
テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。

| 【授業科目名】　情報処理Ｉ | 【担当者】　倉澤寿之 |
|---|---|

**【開講期】**　１年後期

**【授業目標】**

今日、コンピュータは私たちの生活に浸透し、読み書きがキーボードやディスプレイを通じた形でなされる機会が多くなると予想される。この授業では文書作成の実習を通して、コンピュータに親しみ、コンピュータとの基礎的な対話力を養うことを目的とする。

**【テキスト・参考書】**

特に指定しない。

**授　業　計　画**

１．ワープロ・パソコンを使う前に
　ハードウェア・ソフトウェア、キーボード、フロッピーディスクとフォーマット
２．かな漢字変換
３．ファイルの保存と読み出し
　ＯＳとファイルシステム
４．編集
　移動、削除、コピー、挿入
５．印刷
６．文書の体裁
　アンダーライン、網掛け、強調、文字サイズなど
７．書式設定
８．罫線の活用
９．外字作成
１０．アウトラインプロセッシングの考え方
　手書き文書とワープロ文書の違い
　アウトラインプロセッシングのための道具

**【評価方法】**

実技試験をおこなう。

| 【授業科目名】　情報処理Ｉ | 【担当者】　中西　裕 |
|---|---|

【開講期】　１年後期

【授業目標】

パーソナルコンピュータ上のワープロソフトを使用した実習を通して、情報処理の基礎的認識と技能を獲得し、コンピュータによる表現の可能性を考察する。

【テキスト】

『情報処理演習　－ 例題で親しむワープロ・表計算・プログラミング －』
（中西裕 他著、樹村房）

## 授　業　計　画

1. ガイダンス
   コンピュータと社会・コンピュータ技能の意味
2. ワープロ実習
   2-1 基礎編
   機器の名称と役割
   タイピング
   かな漢字変換
   入力練習
   文章の編集（削除・挿入・移動・置換・文字サイズ・センタリング・右寄せ等）
   2-2 実践編
   基本的な文書作成（レイアウト設定・文書書式の知識・ブロック移動・均等割付）
   罫線（作表とさまざまな罫線機能）
   ビジュアルな文書作成（図形描画・グラフィックスの貼り込み）
   段組みとインデントのある文書（段組・インデント）
   2-3 応用編
   自由課題（内容と表現の関係）

【評価方法】

課題の提出状況、実技試験、出席を総合的に評価する。

| 【授業科目名】　情報処理Ⅰ | 【担当者】　森田　信一 |
|---|---|

**【開講期】**　１年後期

**【授業目標】**

情報社会と言われる今日、オフィスでも家庭でも、基本的な情報処理能力が要求されている。本講では、その中でも、ワードプロセッサによる文書処理の方法を学び、これが文書処理の基本的な道具となっていることを理解する。

**【テキスト・参考書】**

授業の中で指示する。

## 授　業　計　画

ワードプロセッサの基本的な利用法を身に付け、身近な文書処理への活用を実感できるような実習を行なっていく。ほぼ次のような手順で進める。

１．現代の生活の中での情報と処理について

２．文書処理とワードプロセッサ

３．ワードプロセッサの基本的な機能

４．基本的な文書の作成

５．様々なレイアウトの方法

６．ビジネス文書の作成

７．文書作成（作文）におけるワードプロセッサ活用の利点について

８．ＤＴＰへの展望

**【評価方法】**

毎時間の提出物によって評価する。

一般教育科目（2年）
外国語科目（2年）

| 【授業科目名】　人間 | 【担当者】　石原・北・東・平賀 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

「日本人と米」のテーマで4人の教員が稲の栽培や米をめぐる生活、現代の米問題等についてそれぞれ専門の立場から講義する

【テキスト・参考書】

テキスト　使用せず

参考書　担当教員の授業時間の中で指示します

## 授　業　計　画

過去数十年の間に日本人の食生活は大きく変化したが、それでもなお米飯中心の生活は変わっていない。稲・米・米飯にまつわる行事や伝承にも米に依存して来た日本人の生活とそれへの愛着や苦悩が認められる。この授業では稲の栽培や米をめぐる生活について4名の教員が歴史、経済、民俗、伝承、栄養などいろいろな面から講義し、人間とその生活を考察する。

Ⅰ、イネの栽培と日本の米　　担当　石原　邦

(1)イネの栽培(スライド使用)、　(2)日本のイネの栽培の変遷、

(3)世界における米の生産と将来の日本の米

Ⅱ、主食としての米　　担当　北　郁子

(1)米の栄養と日本人の食生活、　(2)米はいつ頃から日本人の主食となったか、

(3)日本人の食生活と健康問題

Ⅲ、コメノ民俗と歴史-南島伝承を手がかりに　　担当　東　喜望

(1)柳田国男の壮大なる仮説-海上の道　(2)穀霊信仰の諸問題　(3)穀物と年中行事

(4)穀物起源と伝誦　(5)久米島の調査から　(6)中国の調査から

(7)稲作の伝来と渡来人

米作りと人々の生活史をたどりながら現在の米問題を考える　　担当　平賀　明彦

(1)産業としての農業の特性　(2)日本人とコメの歴史　(3)近代の稲作と米穀市場

(4)食料管理の歴史-食管法の成立、改変とその役割　(5)現代のコメ問題

【評価方法】

各担当教員が授業時間のなかで指示します

| 【授業科目名】　英語ⅡA | 【担当者】　後藤　玲子 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

アメリカの３大ネットワークの１つであるＡＢＣ放送のニュース番組 "World News Tonight" から編集されたビデオとテープとテキストを使って、テレビの視覚情報を最大限に活用しながら、音声情報の理解力の向上を図り、さらにその News story を文字で確認していくことで、語らいを豊かにし、内容についての理解を深め、広げていくことで、現代社会を見つめる確かな目と判断力を養う。

【テキスト・参考書】

- *T.V.News from the U.S.A* [4]（『テレビニュースで学ぶ英語[4]』）
  Kathy Yamane・山根　繁, 1995年, 金星堂, 1500円。
- Pop song Listening, Kim R. Kanel, 1995年, 成美堂, 800円

授　業　計　画

第一回目 ― Introduction

・ニュース「時事英語」とは
・テレビニュース英語の特徴
・聴解力向上のために

それ以降　毎回テキストを１ユニットずつ学習していく。

Unit 1 : Bargain Hunters in Japan
〃 2 : Movie Ratings and the Oscars
〃 3 : Low Calorie Diets
⋮
〃 14 : The Next Arthur Ashe
〃 15 : Remembrance of Martin Luther Kingn

また、relaxationと聴解力向上のために、毎時間始め、popular music を１曲ずつ聴いていく。

【評価方法】

平常点と試験

| 【授業科目名】　英語ⅡA | 【担当者】　ハベル　清子 |
|---|---|

【開講期】　2年前期・2年後期

【授業目標】

【テキスト・参考書】
Figure It Out : Exercises for Listening Comprehension
著者：James M. Vardaman,　出版者：松柏社

授　業　計　画

毎週ｸﾗｽ時間を2割し、最初の半分はﾃｷｽﾄとﾃｰﾌﾟを使用し基礎的なﾘｽﾆﾝｸﾞの練習、残りの半分は毎週か隔週私が出すﾀｽｸ（作業）　-- これはいろいろなﾄﾋﾟｯｸについての考えを英語で述べる　-- をｸﾗｽで口頭発表する。

【評価方法】
ﾘｽﾆﾝｸﾞは隔週ごとの小ﾃｽﾄ、ｺﾐｭﾆｶﾃｨﾌﾞ作業はｸﾗｽ内発表の質により評価する。

| 【授業科目名】 英語ⅡA | 【担当者】 藤田久美子 |
|---|---|
| 【開講期】 2年前期・2年後期 | |

【授業目標】 このクラスでは、英語のニュースをビデオで見ながら、授業を進めていく。テキストで取り上げられているニュースの原稿を、予め、家でよく読んでくることを習慣づけ、内容を把握した上で、クラスで、そのニュースを映像で見る事になるが、こういう事を通して、リーディングとリスニングの実力を上げてほしい。

又、これをきっかけにして、ニュースで用いられる表現に慣れて欲しい。さらに、それぞれのニュースを、深い関心を持って見る態度を、養ってほしいと思う。

【テキスト・参考書】
1) "T. V. News From The U. S. A. (4)" (Kinseido)
2) "Short Listening for Travel" (Seibido)

## 授　業　計　画

1年を通して、T. V. のニュース番組をビデオで見る。目と耳の両方を使って、ニュースの英語に、少しでも慣れていきたいと思う。

テキストで扱われているニュースは、どれも比較的最近のもので、十分興味を持って取り組めるものだと思うので、家でよく調べて、読んできてほしい。

クラスでは、ビデオを見、一緒に問題をやり、テーマについて話し合っていきたい。皆さんが、書いてあることを、どの程度理解しているか確かめるために、英語で質問するので、そのための準備をしてきてほしい。

又、副教材として、リスニングのテキストを使う。15分から20分程度を使い、リスニング、及び、リスニング・ディクテーション（書き取り）を練習したい。

【評価方法】 出席状態、平常の小テストの点数、そして授業態度を、それぞれだいたい同じ位の比重で考えて、評価の基準とする。特に、出席は極めて大事である。

| 【授業科目名】英語ⅡＡ | 【担当者】 森田　眞澄 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】
アメリカのテレビ･ニュース（ABC放送）のビデオを併用し、目も楽しませながら、英語のリスニング能力、読解力を伸ばして頂きたいと思います。

【テキスト・参考書】
"T.V.NEWS FROM THE U.S.A [4]"「テレビで学ぶ英語（４）」 金星堂発行　1500円

授　業　計　画

受講者は、授業に出る前にテキストのNews Storyの部分を必ず読んでおく事が前提のクラスです。１回の授業で１UNIT をカバーします。

【評価方法】
（１）原則として毎週、授業中に小テストを行います。
（２）授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。
(Class Participation---CP)
以上の二点で評価します。
評価の内訳は（１）---80%　（２）---20%

【授業科目名】　英語ⅡB　【担当者】　清野　茂子

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】英語の基礎的な知識をもとに，現在扱われている諸問題に対して自分の意見をまとめ，英語で自由に表現する力を養うことにより英語力の向上をはかりたい

【テキスト・参考書】

未定

授　業　計　画

【評価方法】

| 【授業科目名】　英語ⅡB | 【担当者】　後藤　玲子 |
|---|---|

【開講期】　2年前期・2年後期

【授業目標】

英米文学の中から珠玉の短編小説8編が収めてあるテキストを使って、ていねいに英文を読みながら、人間の真実の瞬間における様々な愛の形について考えていく。

【テキスト・参考書】

*Aspects of Love*　(『愛の諸相ー鑑賞から表現へ』)
Maureen Lamarche・野谷啓二, 1995年, 朝日出版社, 1700円

授　業　計　画

前・後期それぞれ4編ずつディスカッションをしながら読んでいく。収められた作品は以下の通り。

- "The Story of an Hour" by Kate Chopin
- "A Telephone Call" by Dorothy Parker
- "Lispeth" by Rudyard Kipling
- "Sweetheart Sweetheart Sweetheart" by William Saroyan
- "Breakfast" by John Steinbeck
- "Up in Michigan" by Ernest Hemingway
- "Roman Fever (1)" by Edith Wharton
- "　〃　(2)"　〃

また、文学作品から映画化されたものの中から、前・後期1本ずつ映画も見てみたい。

- *East of Eden*　(『エデンの東』), 1955年, 原作 John Steinbeck, 監督 Elia Kazan
- *Age of Innocence*　(『無垢の時代』), 1993年、原作 Edith Wharton, 監督 Martin Scosese

を予定しているが, 要望があれば変更も可能。

【評価方法】

平常点とレポート

| 【授業科目名】　英語ⅡＢ－１ | 【担当者】　長尾　主税 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

英文を読み、なるべく早く、できるだけ多くの情報を得る能力を身につけることを目標とします。

【テキスト・参考書】

開講時に指示します。

**授　業　計　画**

20世紀最大の思想家の1人とされているS.フロイトについて、英語のテキストを読みながら学んでいきます。

簡単にその生涯をふりかえった後、他の思想家との影響関係等、今世紀の思想の地図における彼の位置を確かめます。

次いで、彼が打ち立てた精神分析理論について知識を深めてゆきます。基本的な用語、概念を整理し、それがどのように文学等他の文脈で具体的に用いられているかについて、グループごとに調査し、レポートを書いて発表してもらいます。また、討論の場を設け各人が身につけた知識を実践の場で生かすことができるか考えます。

授業では、絶えず積極的に意見を発表することが求められます。

【評価方法】

授業時のレポートに平常点を加えて評価します。

| 【授業科目名】 英語ⅡB | 【担当者】 森田　眞澄 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

ビデオ･ムービーを併用し、教科書(映画のシナリオ)を読むだけではない、コミュニケーションを主眼に置いた授業を行います。映画を原語で味わう楽しさ、外国語を理解する喜びを知って頂きたいと思います。

【テキスト・参考書】

"Butch Cassidy and the Sundance Kid" 「明日に向かって撃て」
㈱ニューカレントインターナショナル発行　2000円

授　業　計　画

受講者は授業に出る前にテキストの宿題の部分を必ず読んでおくことが前提のクラスです。前期、後期を通じて"Butch Cassidy and the Sundance Kid" 全編をカバーする予定です。時間に余裕があれば、後期の後半に"Sound of Music"のハイライトシーンを観たいと思います。

【評価方法】

（１）原則として毎週授業中に小テストを行います。
（２）授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。
　　(Class Participation---CP)
（３）映画及び授業に対する感想を、日本語でレポート用紙に１枚以上書いて頂きます。

以上の三点で評価します。
評価の内訳は（１）---80%　（２）---20%　（３）---期限までに提出すればOKです。

| 【授業科目名】 独語Ⅱ | 【担当者】 正路　妙子 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

１年次に学んだ知識を整理し、活用しながら、読んで書く力を養うことを目標にする。

【テキスト・~~参考書~~】

①〈改訂版〉中級ドイツ語へのステップ―読章と文法練習―（第三書房）
②独作文―初級から中級へ―（第三書房）

授　業　計　画

先ず、１年次にやりのこした文法の説明を行ない、そのあとで、テキストの購読に移るが、授業時間の前半を使って、テキストを読み、後半では、文法項目べつになった作文を扱いながら、日本人とドイツ人の発想の基本的な相違点について考えていく予定である。

【評価方法】

授業のなかで提出してもらうものと定期試験の成績とを総合して判定する予定である。

| 【授業科目名】仏語Ⅱ | 【担当者】村山　知恵 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期・２年後期 | |
| 【授業目標】「星の王子さま」を原文で読み、フランス語の理解と、この童話の理解を深める。 | |
| 【テキスト・参考書】"Le petit Prince" Antoine de Saint-Exupéry Collection folio junior | |

**授　業　計　画**

1).「星の王子さま」の作家の背景、歴史的位置を講義
2) きちんと最初から最後まで読み訳させる。一日に5、6人づつ訳をあてる。
3) ビデオ・フィルムによる鑑賞を最後の授業の時にする

【評価方法】"Le petit Prince"を一年間読み、自分の感じたことこの童話の意義をレポートにまとめ提出する。

# 専門教育科目（２年）

| 【授業科目名】　感覚と知覚 | 【担当者】　金子　尚弘 |
|---|---|

【開講期】　２年前期

【授業目標】　感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には３Ｄ図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。

【テキスト・参考書】
テキストは使用しないが、授業中参考となる書籍や、遊園地、催し等の情報を提供する。

授　業　計　画

１、知覚とは何か？　スライドとビデオ「感覚と知覚」
　　知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。
２、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」
　　私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。
３、感覚器官と感覚刺激の話－－視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」
　　我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。
４、色の知覚、ビデオ「Colour」
　　色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。
５、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚
　　視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。
６、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」
　　錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。
７、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」
　　さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。
８、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」
　　我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。
９、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」
　　私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。
10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚
　　音の知覚や、音源定位を実際に体験する。
11、味と匂いの知覚、時間の知覚
　　味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。
12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度
　　知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。

その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術―初めて見る世界－」

【評価方法】
学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。

| 【授業科目名】 記憶と思考 | 【担当者】 荻野七重 |
|---|---|

**【開講期】** 2年前期

**【授業目標】** 思考に関する多くの実験的研究によって示された事実や理論を示す。特にことば、概念の獲得と発達的変化の過程を見ていく。
記憶については、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等がどのように記憶の3つの過程、記名、保持、想起（忘却）において作用するかを見ていく。

**【テキスト・参考書】** テキストとして下記のものを用いる。なおこのテキストの前半部分は条件づけや運動学習について書かれている。授業ではその後半部分を用いる。
「学習心理学」行動と認知　山内・春木編著　（サイエンス社）

## 授　業　計　画

1．問題解決と推理　　テキスト　5章

問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ
認知の発達と推理（J．P．ピアジェ）
演繹的推理と機能的推理
創造性（集中的思考と分散的思考）

2．概念過程と言語の獲得　　テキスト　6章

概念の構造と概念学習
言語の獲得と思考

3．記憶と忘却　　テキスト　7章

記憶とは何か
記憶の研究法　（記銘材料と測定法）
短期記憶と長期記憶
忘却
記憶術

4．有意味材料の記憶　　テキスト　8章

エピソード記憶と意味記憶
記憶の変容

**【評価方法】** 定期試験にテストを行う。

| 【授業科目名】　動機づけと感情 | 【担当者】八木孝彦 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期 | |

【授業目標】

動機づけと感情に関する心理学の基礎概念について学習する。基礎的な概念については繰り返して説明するので、正確に理解し、それらを使用できるように学習すること。

【テキスト・参考書】

テキストは指定しないが参考書は随時紹介する

授　業　計　画

Ⅰ　心理装置のモデル
- (1)　心理装置のモデル
- (2)　心理機能の正常と異常
- (3)　動機づけ概念の定義

Ⅱ　動機づけ概念の展開
- (1)　本能心理学と動機づけ
- (2)　人格心理学と動機づけ
- (3)　学習心理学と動機づけ

Ⅲ　動機づけ理論（１）
- (1)　ホメオスターシス　モデル
- (2)　摂食行動
- (3)　性行動

Ⅳ　動機づけ理論（２）
- (1)　誘因モデル
- (2)　認知的モデル
- (3)　活動ー動機づけ　モデル

Ⅴ　動機づけと脳
- (1)　視床下部
- (2)　大脳辺縁系

Ⅵ　感情心理学の歴史

Ⅶ　感情の分類
- (1)　感情の概念
- (2)　感情の分類
- (3)　基本感情とは

Ⅷ　感情の機能と構造
- (1)　感情の機能
- (2)　感情の構造

Ⅸ　感情のコミニュケーション
- (1)　感情と表情
- (2)　声と感情
- (3)　動作と感情

Ⅹ　感情
- (1)　怒りと恐れ
- (2)　不安と絶望
- (3)　悲しみ

【評価方法】

筆記試験

| 【授業科目名】 英書講読 | 【担当者】 林　　潔 |
|---|---|
| 【開講期】　2年後期 | |

**【授業目標】**
心理学の英文になれること。

**【テキスト・参考書】**
コピーを用意する。

## 授　業　計　画

1.正常と異常
(1)異常行動の定義
(2)異常行動への取り組みの歴史
2.知能
(1)知能とは何か
(2)知能の一般的要因
(3)知能の測定
(4)IQについて

**【評価方法】**
平常点

| 【授業科目名】　情報処理Ⅱ | 【担当者】　倉澤寿之 |
|---|---|

**【開講期】**　２年前期

**【授業目標】**

表計算ソフトウェアの実習を通して、数値データの処理とそのグラフ化、ならびにデータベースの作成と検索方法を学ぶ。数値データの処理は心理学の研究に欠かせないばかりか、生活の様々な側面でも必要とされている。また、電子情報化されたデータベースは今後の私たちの生活に重要な役割を持つと考えられる。

**【テキスト・参考書】**

特に指定しない。

**授　業　計　画**

１．スプレッドシート入門
　「スプレッドシート」とは
　基本用語と基本的なキー操作
２．数値データ処理
　数値データ処理の基本（データの入力と編集、ワークシートの保存と呼び出し、再計算、
　セル番地、表の整形、範囲指定、セルの形式、罫線の活用）
　数値データ処理の応用（ｔ検定）
３．プリントアウト
　プリンタドライバの設定、印刷の詳細設定
４．グラフ表示
　グラフの基本（グラフ表示の方法、グラフの種類、グラフの詳細、グラフ印刷）
　グラフの応用
５．関数の活用
　基礎的な関数（算術関数、統計関数）
　関数の応用（相関係数の算出）
６．データベースとしてのスプレッドシート
　データベースとは
　簡単なデータベース作成（住所録）
　ソーティング（並べ換え）
　抽出
　データベース用語の基礎知識

**【評価方法】**

実技試験をおこなう。

| 【授業科目名】　情報処理Ⅱ | 【担当者】　中西　裕 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期 | |

【授業目標】

パーソナルコンピュータ上のスプレッドシートを使用した実習を通して、数値情報処理の基礎的認識と技能を獲得し、生活や研究の場面でのコンピュータ利用の可能性を考察する。

【テキスト】

『情報処理演習　－ 例題で親しむワープロ・表計算・プログラミング － 』

（中西裕 他著、樹村房）

授業計画

1. ガイダンス
   コンピュータの役割と可能性
2. 表計算実習
   2-1 基礎編
      数値・式・文字列の入力（四則計算・関数）
      ワークシートの作成（式の複写・相対セル番地・絶対セル番地・表示形式・罫線・文字位置・印刷）
   2-2 実践編
      グラフの作成（棒グラフ・積み重ねグラフ・円グラフ・折れ線グラフ）
      シミュレーション（データの変更と再計算）
      データベース機能（ソート・検索）
   2-3 応用編
      統計処理（相関係数の計算・相関図の作成・t検定）
      ワークシートの設計

【評価方法】

課題の提出状況、実技試験、出席を総合的に評価する。

| **【授業科目名】** 心理学研究演習　・　卒業研究 | **【担当者】**　専任教員，他 |
|---|---|

**【開講期】**　**2年前期・2年後期**

**【授業目標】**

短大2年間の知識の学習のまとめとして，卒業研究をまとめる。
報告の作成と，発表会を行い，成果について多方面からの検討を受ける機会とする。

**【テキスト・参考書】**

必要に応じて提示する。

**授　業　計　画**

**（ 心理学研究演習 ）**

心理学研究演習は２年次後期の卒業研究につながる科目である。指導担当教員があらかじめ提示した演習のテーマの１つを選び、その指導教員の指導を受けて、原則として共同で研究をすすめて行くものである。

実験、調査、生理心理的測定テスト、文献研究など研究目的に応じたものとなる。

なお、提示した１つのテーマを希望する人が多い場合には他のテーマに変わることもある。☆印のテーマに関しては、担当者のスーパーバイズの下、そのテーマを専門とする助手が実際の指導を担当します。

**（ 卒業研究 ）**

心理学演習Ⅰ・Ⅱおよび心理学研究演習までに学習したものを基礎にして共同研究をおこなう。担当指導教員・テーマは原則として心理学研究演習と同じで、その研究を発展させ、統計処理等を含め研究レポートの作成にあたる。

研究の結果を１月中旬発表会で発表する。

**【評価方法】**

平常点　・　レポート

| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 荻野　七重 |
|---|---|

【開講期】　2年前期・2年後期

【授業計画】

統一テーマ　”日常記憶研究”

心理学研究演習では、記憶に関する簡単な実験をグループに別れていろいろと行ってみたいと思います。これは条件を統制した実験室的なものです。これらの実験を通して、記憶に関する基礎的な知識と実験の手法に習熟してもらうのが目的です。

卒業研究では、日常記憶研究として、自然実験といわれる方法（やはり実験的な手法ではあるが、より現実生活に近いものとなるように工夫して実験を行うもの）で実験的研究を行ってみたいと思います。そのためには次の著書が、参考になると思います。各グループは、この3章、7章のいずれかを中心に文献研究をし、グループ毎に具体的な実験計画をたて、実験を行っていきます。

G．コーエン著　「日常記憶の心理学」　サイエンス社

始めからテーマ別にグループを作るよりも、卒業研究に入ってからテーマ別のグループを作る方が良いと思いますが、一応下記のテーマのいずれか一つを選んでください。　卒業研究のテーマについては柔軟に考えていきたいと思っています。

テーマ　1

記憶　1．場所、もの、出来事の記憶　（3章）

テーマ　2

記憶　2．会話、散文、物語の記憶　（7章）

| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】金子　尚弘・寺田　雅英 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期・２年後期 | |

【授業計画】

| テーマ１ | 実験行動分析（動物の行動分析） |
|---|---|
| 行動分析では行動の変化を、弁別刺激ー自発的反応ー強化子（報酬など）の関係で説明します。実験的に弁別刺激や強化子などの環境を変えることによって、反応が変化します。この関係を調べることによって私たちは行動についてより深い理解が得られるでしょう。被験体はラットを用います。いろいろな強化スケジュールのもとでラットの反応は変わります。ラットの行動がどのような条件下で、どのように変わるのかを観察し、分析することによってラットの行動を理解することが出来るでしょう。 | |
| テーマ２ | 応用行動分析１（ヒトの行動分析） |
| ヒトの行動は、弁別刺激ー自発的反応ー強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものにしているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを考えてみます。 | |
| ☆テーマ３ | 応用行動分析２（自閉症児療育の行動分析） |
| 自閉症児とは生後３０カ月未満に、他人に対する反応が欠如し、言語発達が遅れ、状況に対する奇異な反応が見られた子供のことです。コロロＥＴセンターには100人以上の自閉症児が治療教育のため通っています。この療育施設で行われている行動療法的訓練を観察し、トレイナーから自閉症児は何を学習し、行動がどの様に変化していくのかを色々な側面から観察し分析していきます。また、今までこの施設に通所した自閉症児の初期の行動特徴と行動療法開始後の特徴をまとめ、行動のどの側面が変えられていくのかを考えていきます。 | |

| 【授業科目名】　心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】神田　信彦・杉山　成 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業計画】

| テーマ１ | 不安の発達的変化に関する研究 |
|---|---|
| 人は様々な不安を持っている．その内容や程度には個人差があることは言うまでもない．では発達段階によるそれらの差異は見られるのであろうか．今回は児童期から青年期までの人たちを対象にして縦断的に各時期における不安の対象や内容の差異があるのか．あるとすればどのようなことか．どのような要因が関連しているかを検討する． | |
| テーマ２ | 青少年の死生観に関する調査研究 |
| “いじめ”を苦にするなどして死に急ぐ子どもたちがおり，それが社会的問題の一つとして指摘されている．ここではこどもたちにとって“生きる”こと“死ぬ”ことがどのような意味を持つのか，子どもたちの自己イメージや周囲との関係の認知などを関連させ検討する． | |
| ☆ テーマ３ | 児童期から青年期にかけての未来展望 |
| 未来展望（future time perspective）とは，個人的目標や計画，または未来に対する感情・態度，志向性等，個人が未来に対して抱くさまざまな表象・態度である．本研究では，児童期から青年期にかけての未来展望の発達を，内容的側面（目標や計画の内容），リアリティ（想定された目標や計画の現実性），構造的側面（たとえば複数の下位目標が1つの上位目標に向けて整合的に布置されているかどうか）といった観点から検討する． | |

| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】倉澤　寿之・今野　裕之 |
|---|---|
| 【開講期】 ２年前期・２年後期 | |

【授業計画】

| テーマ１ | 嘘判断のきっかけに関する研究 |
|---|---|
| 「この人は嘘を言っているのではないか」という疑問、あるいは時によっては確信を持つことがあります。このような印象は何によって生じるのでしょうか。これまでは表情や声の調子、体の動きや言葉の内容などがその手掛かりとして研究されてきましたが、それらが単独で手掛かりとなるとはあまり考えられません。むしろ、そのときの状況とその人の行動の関わりが重要だと思われます。どんな状況でどんなことを言ったりしたりすると嘘だと思われやすいのか、このあたりのことを実験を通して調べてみたいと思います。 | |
| テーマ２ | 血液型性格判断の社会的浸透に関する研究 |
| 世の中では血液型で性格を判断することがはやっています。しかし、これは科学的にはほとんど根拠の無いことだということがわかっています。それでもなお信じている人が多いのはなぜでしょうか。信じていないにしても話題にのぼることが多いのはなぜでしょうか。血液型の話が私たちの日常で果たす役割は何かという面からこの問題を捉えてみたいと思います。 | |
| ☆ テーマ３ | 社会的公正さに関する研究 |
| 「どうもＡ君と私の仲は不公平だ」「バイト料が不当に安い」など、日常生活の様々な場面で”公正ではない”と感じることがあります。それでは、公正かどうかはどのように判断されるのでしょうか。また、公正さは人の感情や行動にどのような影響を与えるのでしょうか。対人関係や給与の分配を題材にして研究を進めます。 | |

| 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】 多喜乃 亮介 |
|---|---|

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業計画】

| テーマ1 | 眠気に関する研究 |
|---|---|
| 頭がすっきりと働くためには、はっきりとした目覚めが必要なようです。ところが、はっきり目覚めていたいにもかかわらず、抗し切れない眠気に襲われて困った経験は誰しも1度は経験したことがあると思います。寝不足や不規則な生活が大きな原因と考えられますが、それ以外の要因は考えられないでしょうか。はたしてどのような心身のコンディションのときに強く眠気を感じるものかを日常生活場面の中で観察・調査してみようと思います。 | |

| テーマ2 | 覚醒から睡眠へ移行する時期(入眠期)に関する実験的研究 |
|---|---|
| 入眠時期は普通の眠りではすぐに過ぎ去ってしまうので自覚的に体験している人は少ないかも知れません。しかし、この時期は精神活動がまったく停止してしまうわけではなく、実際の刺激がなくても自らが刺激を作り出しているかのように、夢見様の体験(たとえば身体感覚の変化や聴覚や視覚体験といったもの)が生じる興味深い時期です。はたしてどの時点がこのように覚醒から睡眠へと頭のスイッチが切り替わる時期なのかを、生理的な意識水準を測定できる指標(脳波や眼球運動、汗腺活動、心拍など)を測定しつつ心理学的な課題を用いて実験的に検討してみようと思います。 | |

| 【授業科目名】　心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】　林　潔 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期・２年後期 | |

【授業計画】

| テーマ１ | 教育相談について |
|---|---|
| 教育相談の対象は高校生までの児童生徒です。教育相談の現状について資料で調べてみたいと思います。そして教育相談についての一般の人たちの意識について検討します。 | |
| テーマ２ | 日本の教育相談と外国の教育相談 |
| 高校生までを対象とする教育相談の内容、システムについて日本と外国とを比べてみます。<br>外国はアメリカ以外の国になります。 | |

| 【授業科目名】　心理学研究演習・卒業研究 | 【担当者】八木　孝彦・安田　朝子 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期・２年後期 | |

【授業計画】

| テーマ１ | 「表情を測る」 |
|---|---|
| 表情を測る心理学的な方法はいくつかあります．今回はその中の代表的な方法の一つ，EkmanのFacial Action Coding System を，勉強します．この学習には，２－３カ月かかります．これが終わると皆さんと相談して，実際の人の表情を測ってみましょう．たとえば「デートの待ち合わせ場所でずっと待っている人の表情」「映画の中の喜びや悲しみの表情」など． | |

| テーマ２ | 「顔」に関連した心理学的研究 |
|---|---|
| 顔に関係していれば，どんなテーマでも結構です．「美人の顔とは？」「顔から年齢はどれほど正確に推定できるか？」「嘘をついている時の顔とは？」その他どんなテーマでも結構ですが，心理学的に研究できるものという条件がつきます．その条件については問い合わせてください． | |

| ☆テーマ３ | 「肩コリ」の程度は触って測れるか？ |
|---|---|
| 肩コリは気分の重いものです．あるいはつらくて痛いものでもあります．ところで肩コリの程度は本人の主観的訴えに依存しています．もっともアンマさんやマッサージさんが「かなり凝っていますね！」と触って評価をします．素人がこれができるでしょうか？素人が他人の肩を触って，この肩コリは「肩コリ強度６！」とある程度正確に診断できるのでしょうか．これをテーマにしたいと思います． | |

| 【授業科目名】　心理学研究法Ａ | 【担当者】　川島　真 |
|---|---|

**【開講期】**　２年前期・２年後期

**【授業目標】**

カウンセリングの方法や進め方、技術を事例を通して学ぶことにより、カウンセリングへの理解を深め、日常生活でのカウンセリング・マインドを身につけることを目標とする。

**【テキスト・参考書】**

テキスト：特に定めない。授業時に適宜プリント配布する。
参考書：福島章『青年期の心』（講談社現代新書）
野原明『日本の教育－いま家庭で学校で－』（丸善ライブラリー）

## 授　業　計　画

カウンセリングはどういうことをするのか、カウンセラーの仕事とは何か、からカウンセリングの方法・進め方まで、カウンセリングの実際を概観するとともに、自己と周囲の人々をカウンセリング的に考えてみる。また、現代青年や子どもの心の問題を取り上げ、クライエントの理解を深める。

授業は資料プリントやＶＴＲ、テープなどを使用し、具体的に進める。また、一方的な講義ではなく、受講生との対話を交えながら双方向の授業としたい。

1　カウンセリングとはなにか?（導入を兼ねて）
2　カウンセラーの仕事とその役割
3　クライエントとは①青年のケース
4　現代青年を考える
5　クライエントとは②子どものケース
6　今の子どもを考える
7　クライエントの理解①
8　クライエントの理解②
9　カウンセリング・面接・心理療法
10　面接の実際－面接事例１－
11　面接の実際－面接事例１つづき－
12　面接の実際－面接事例２－
13　共感的理解と対人関係－日常生活にいかすｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ－
14　総まとめとレポート課題の提出

**【評価方法】**

レポート試験を実施。レポート課題は第１２回授業時に配布し、最終授業時に提出。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。

| 【授業科目名】 心理学研究法Ａ | 【担当者】 神田信彦 |
|---|---|

**【開講期】** ２年前期・２年後期

**【授業目標】**
様々な実習を通じて自己表現や自己理解を深めて行く。

**【テキスト・参考書】**
随時資料を配布する

## 授　業　計　画

伊東博のニューカウンセリングの実習や構成的エンカウンターグループのエクササイズのうち比較的ソフトなものを取り上げ体験する。また、自我や自己についての理論についても触れ人間理解の方法を考えていく。

体験する実習やエクササイズの主な内容は以下の通りである
・リレーションづくりに関するもの
・非言語的コミュニケーションに関するもの
・自己開示に関するもの
・セルフ・アウェアネス関するもの

**【評価方法】**
平常点による

| 【授業科目名】　心理学研究法Ａ | 【担当者】　福田　周 |
|---|---|

【開講期】　２年前期・２年後期

【授業目標】

心理療法で用いられる技法の一つである箱庭療法を実際に体験し、自身の体験を通しての箱庭療法の理解を深める。さらに、自己の内的世界との交流を通して、心理的な自己啓発を個々が深めていくことを目標とする。

【テキスト・参考書】

## 授　業　計　画

心理学の分野のうち、カウンセリングや自己啓発などを行う臨床心理学の領域があるが、そこでは様々な技法によって人間の心理の理解と共感を深めていく。その中で箱庭を使った他者および自己との交流を通して、心理療法の基本的な素養を身に付け、さらに自己との新しい出会いを通して、内的世界の重要性や自己の新たな可能性などに触れていくことを目指してみたい。簡単なオリエンテーションを行った後、小グループに分かれ、各々一人一人箱庭を制作していく予定である。また、時間の余裕があれば、夢や童話・絵本などを使ってより内的世界の豊かさを体験していければと考えている。評価は体験した箱庭のレポートによって行う。箱庭作成は１回ないし２回となる予定。

（１）　オリエンテーション
（２）　グループごとの箱庭作成
　　　　　〜
（１１）　　〃
（１２）　箱庭療法の理論と歴史
（１３）　箱庭療法の理解の仕方（ＶＴＲ）
（１４）　事例を通した箱庭療法の理解
（１５）　まとめ

【評価方法】

各自箱庭を制作した時点で、次の回までにレポートを提出すること。さらに最後にまとめとしてのレポートも提出すること。

| 【授業科目名】　心理学研究法A | 【担当者】　若山　隆良 |
| --- | --- |

**【開講期】**　２年前期・２年後期

**【授業目標】**

描画法および描画テストを実際に体験し，イメージの象徴的理解について関心を深めることを目的とする。

**【テキスト・参考書】**

## 授　業　計　画

・描画法・描画テストを実際に体験することを第一の目的とする。

・心理テストとしての描画テストと，心理療法の技法としての描画法の違いについて考える。

・描画テストについては，大まかな理論的背景，教示の仕方，結果の整理法，解釈法を講義する。

・取り扱う描画法は下記の「授業の予定」にあるものを予定しているが，多少の変更はありうる。

授業の予定

1．描画法の概説
2．バウムテスト
3．バウムテスト
4．スクィグルゲーム
5．スクィグルゲーム
6．風景構成法
7．風景構成法
8．風景構成法
9．ＨＴＰ
10．ＨＴＰ
11．ＨＴＰ
12．予備日

**【評価方法】**

期末レポートにおいて評価する

| 【授業科目名】　心理学研究法B（質問紙調査） | 【担当者】　倉澤寿之 |
| --- | --- |

**【開講期】　２年前期　・　２年後期**

**【授業目標】**

質問紙調査は心理学の研究をはじめ、世論調査、マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識・技法を学び、実際に簡単な質問紙を作成・実施する。またデータの処理方法についても、基本的な事項を習得することをめざす。

**【テキスト・参考書】**

（参考書）続有恒・村上英治（編）心理学研究法９質問紙調査　東京大学出版会
杉山明子（著）社会調査の基本　朝倉出版

**授　業　計　画**

1．質問紙調査とは（講義形式）
観察法・面接法などと比較した、質問紙調査実施の概略

2．質問紙調査の基礎知識（演習形式）
- 調査方法の種類
- 質問紙の構成・体裁
- 質問文の作成法
- 質問紙法の諸問題
- サンプリング方法（層化無作為抽出法）
- データ処理方法（クロス集計・多変量解析）

3．調査の実習（実習形式）
- 調査内容・調査計画の決定
- 質問文の作成
- 質問紙の作成
- サンプリングの実習
- 調査の実施
- 調査票の回収
- 調査票の事後処理
- データのクリーニング
- データのコンピュータへの入力
- コンピュータによる分析
- 結果の解釈

4．調査報告書（レポート）の作成

**【評価方法】**

出席状況、演習での発表の良否、実習への貢献度、報告書の良否を総合して評価する。

| 【授業科目名】　心理学研究法Ｂ | 【担当者】　鈴木　牧彦 |
|---|---|

**【開講期】**　２年前期・２年後期

**【授業目標】** 脳と心の関係にアプローチするしかたには、狭義にいう生理心理学的アプローチと精神生理学的なアプローチがある。前者は、生体（特に神経系）の生理学的な変容にともなう行動変容を心理学的な方法で測定することによって「心理学的概念の実体化」をめざし、後者は、心理学的変容にともなう生理学的変化の測定を通して心身の相関を解き明かそうとする。授業では、脳を科学するとはどういうことか、それにはどのような方法があるのか、異なる方法をとることによって心の見え方がどのように変わってくるのか、そうしたことを知り、考える力を養う。

**【テキスト・参考書】** テキスト：使用しない。
参考書：必要に応じて適宜紹介する。

## 授　業　計　画

授業内容を分野別に掲げると、(1)精神生理学、(2)神経心理学、(3)生理心理学の３部となり、授業は大まかにこの順序で進めて行く。(1)、(3)では実習を中心に、(2)は講義中心で行なう。

(1)精神生理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは、「精神作業時の心拍数の変化」。

(2)左右離断脳、失語症、痴呆症、分裂病やアルコール依存症における認知障害などに関する実験例、臨床例の紹介、視聴覚資料を利用した神経心理学的検査の実際などを紹介する。

(3)生理心理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは「脳内自己刺激行動」で、外側視床下部から誘発される行動の観察、自己刺激行動の獲得と消去の過程を実地に観察する。最後に、「脳を見る」というテーマで実験に用いた動物の脳の組織標本の作成を通じて脳の構造を観察する。

| | | |
|---|---|---|
| ①オリエンテーション | | 授業全体の構成、主眼点、進め方についてのガイダンス。 |
| ②「精神作業時の心拍数の変化」 | 講義と実験の説明 | 自律神経系、情動理論、シャクターの情動実験などの紹介を含む講義、実験の説明。 |
| ③④ | 実験 | |
| ⑤ | データ整理 | 自分が被験者となったときの心電図を集計し、各人の結果についてグラフを作成する。 |
| ⑥ | 討論 | 「心拍数」の実験結果について考察、討議する。 |
| ⑦神経心理学 | 講義 | 神経心理学におけるトピックス。 |
| ⑧生理心理学 | 講義 | 生理心理学における手技（刺激法、破壊法）。 |
| ⑨「脳内自己刺激行動」 | 実験の説明、実験 | 実験の背景（情動、動機づけに関する簡単な生理学的研究史）、方法の説明に引き続き実験。 |
| ⑩ | 実験 | 実験と結果の整理。 |
| ⑪⑫「脳を見る」 | 実習 | 切片作成。 |
| ⑬ | 実習 | 染色、組織標本の鏡検。 |

**【評価方法】** レポート

| 【授業科目名】 心理学研究法B | 【担当者】多喜乃 亮介 |
|---|---|
| 【開講期】　　２年前期　・　２年後期 | |

【授業目標】

脳波の測定を通して、測定手法を学ぶと同時に、心の働きの背景にある脳の活動について理解を深める。また、代表的な実験を通して、脳の認知機能を測定する場合の視点や実験的な工夫について体験的に理解する。

【テキスト・参考書】

テキスト：測定方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布

参考書：　大熊輝雄、『臨床脳波学』、医学書院、1983
　　　　　時実利彦 他、『新脳波入門』、南山堂、1979
　　　　　宮田 洋 他、『生理心理学』、朝倉書店、1985

授　業　計　画

前半は脳波計の操作および電極装着の練習を中心に進める。実際の操作を通して、脳波がどのような現象を記録したものであるのか、どのような注意が必要なのか、脳波以外の生体電気現象にはどのようなものがあるのか、などについて学習する。また、記録したデータ整理を通して自発脳波の特徴、意識水準と脳波の関係について学習する。

次に、実験場面を設定し、脳で営まれる働きがどのように脳波上に反映されるのかを観察する。また臨床脳波で異常脳波と呼ばれる現象がどのようなものであるのかを学習する。

最終的に、脳で生じた小さな変化を捉える記録の経験を通して、心の成立する基盤や、脳と心の関係についての若干なりとも科学的考察を加えることができるようになることを目標とする。

以下の項目に従って進める予定である。

- ガイダンス　　　脳の構造、脳波の発生起源、記録上の注意点
- 脳波計の操作　　入力部分、増幅部分、出力部分の構造と操作
- 電極の装着　　　国際10-20法、探査電極、基準電極、接地電極
- 電極装着実習
- 記録実習　　　　閉眼安静時記録、睡眠時記録、光刺激賦活
- データ整理１　　波形認識、アーチファクト、周波数と振幅の測定(藤森法)
- データ整理２　　周波数分析、加算平均、入眠期～睡眠時の波形、
- 実験１　　　　　課題遂行時の脳波(精神作業時、音楽／騒音聴取時、など)
- 実験２　　　　　事象関連電位(P-300, N-100, など)
- 脳波異常　　　　異常波形について(棘波、鋭波、徐波、群発波、など)

【評価方法】

電極の装着と記録をとることができることを50点
各自の記録した波形を分析し、レポートとして提出したものを50点として評価する。

| 【授業科目名】 心理学研究法Ｂ　（行動分析学） | 【担当者】 中丸　茂 |
|---|---|

**【開講期】** ２年前期・２年後期

**【授業目標】**

行動の定義、測定、制御、予想を実際におこないながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的する。また、日常生活や臨床場面、コーチングなどへの行動分析学を応用する力も養う。

**【テキスト・参考書】**（テキスト）　講義時にプリントを配布

（参考書）アルバート，Ｐ．Ａ．ら　１９９２　はじめての応用行動分析　二瓶社

SUPER STRINGS SR21 編　１９９５「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社

その他　適時紹介

## 授　業　計　画

行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。また、その内容により、基礎研究をおこなう実験行動分析、臨床応用を目的とする応用行動分析、行動主義そのものを考察する理論的行動分析に分類される。

本授業では、実験行動分析を中心として講義・演習を行い、その知識・技法を応用場面へと展開していくというステップを踏む。テーマとしては、情動行動、言語行動、認知行動、迷信行動などを予定している。

［講義・演習予定］

Ⅰ．行動分析の基礎知識　　－講義形式－
- なぜ、行動を対象とするのか？
- スモール・ステップって？
- 三項随伴性とは？
- 強化スケジュール
- 実験計画法（１事例実験デザイン）

Ⅱ．行動分析の実際（１）　－演習形式－
- 逸話的レポート
- 観察記録法　　など

Ⅲ．行動分析の実際（２）　－実習形式－
- １事例実験デザインを中心に、実験を行う

＊いきなりフル・マラソンは出来ないが、
まず、１０ｍぐらいなら走れる！！

**【評価方法】**

レポート

| 【授業科目名】 精神生理学 | 【担当者】多喜乃 亮介 |
|---|---|
| 【開講期】　2年後期 | |

【授業目標】

ものを見たり、聞いたり、感じたりする背景で、私たちの体にはどのような変化が生じているのだろうか。そのような視点から心を扱った実験例を中心に学習し、心と体の関係、あるいは心と脳の関係についての理解を深める。

【参考書】

J．L．アンドレアッシ、『心理生理学』、ナカニシヤ出版、1985
J．ハセット、『精神生理学入門』、東京大学出版会、1987
宮田　洋　他、『生理心理学』、朝倉書店、1985

授　業　計　画

この講義では基本的に人間を対象とした場合の研究方法、測定方法、実験例を中心に、心と体の関係について学習していく。まず神経系の働きの基礎と測定方法について学ぶ。次に、意識を司る脳の働き、睡眠と覚醒といった問題を取り上げ、精神活動を営む基盤としての脳の働きを理解する。また、刺激に対する生体の反応について、体の末梢に現れる自律神経機能の反応と、直接脳を測定したときの反応について学ぶ。脳の機能については動物を用いた研究成果や脳損傷例についても比較のために紹介する。また高次機能と関連した脳の働きについて、どの程度まで明らかにされてきているのかを学んでいく。

以下の項目に沿って授業を進める予定である。

1. 心と体を結ぶ神経系の働きの基礎、および測定方法
　中枢神経系と末梢神経系
　体性神経系と自律神経系
　脳の構造と代表的な中枢機能

2. 意識を司る脳の働き
　睡眠・覚醒中枢と脳波の発生
　徐波睡眠、REM睡眠、生体リズム、睡眠の発生
　精神活動と脳波上の変化

3. 末梢に見られる生体の反応　[自律神経系の反応]
　汗腺活動の反応、心臓血管系の反応
　心理的要因と自律神経系の反応
　情動理論と神経系の働き（扁桃核、視床下部、報酬系を中心に）

4. 脳に見られる活動　[中枢神経系の活動: EEG, MEG, PET, MRI, fMRI]
　誘発反応（体性感覚野、視覚野、聴覚野、脳幹）と事象関連電位
　脳損傷事例から学ぶ（失行、失認、失語、健忘、大脳半球機能差）
　認知機能と脳の活動（頭頂連合野、側頭連合野、前頭連合野、海馬）
　運動機能と脳の活動（運動野、補足運動野、小脳）

【評価方法】

レポートを評価対象とする。講義で取り上げたトピックスを参考に脳と心の関係を考察する。

| 【授業科目名】　心理検査法 | 【担当者】　穂苅　千恵 |
|---|---|

【開講期】　２年前期

【授業目標】
代表的な心理検査について具体的に紹介する。可能な範囲で実習を行い、人格理解を体験的に深めていく。

【テキスト・参考書】

テキスト；使用せず。必要に応じて、プリントを配布する予定。

## 授　業　計　画

心理検査のうち知能検査と性格検査に焦点をあて、現在一般的に使用されているものを紹介する。各心理検査ごとに、目的・施行方法・検査者に必要とされる施行態度・解釈・限界と問題点などについて説明を加える。その際、講師が実際に心理療法を担当した事例もあわせて紹介するつもりである。可能な範囲で、受講生にも検査者・被検査者を体験してもらいたいと思っている。

扱う予定の検査は、下記の通りである。

＜知能検査＞
ＷＩＳＣ－Ｒ，田中ビネー，コース立方体

＜性格検査＞
Ｙ－Ｇ検査，エゴグラム，Ｐ－Ｆスタディ，ロールシャッハ，風景構成法

【評価方法】　出席状況とレポートによって評価を行う。

| 【授業科目名】 カウンセリング | 【担当者】 林　潔 |
|---|---|

【開講期】 2年前期

【授業目標】 カウンセリング概説－－ロジャース理論を中心に－－

【テキスト・参考書】 内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」 日本文化科学社

指定図書：図書館

## 授　業　計　画

1. 悩みよりも悩む人に焦点を置く，カウンセリング心理療法の意味について
2. カウンセリング，心理療法の流れ
3. カウンセリング，心理療法の3つの山について－－精神分析，実存的アプローチ
4. 実存的アプローチの一つとしての来談者中心カウンセリングの役割
5. Rogersの適応と人格論
6. 治療的人格変化のための条件について
7. 受理面接の役割
8. Snyder範ちゅう
9. 来談者中心カウンセリングのケース紹介(1)
10. 同　(2)
11. 他の立場の紹介：臨床的カウンセリング
12. 同　：折衷的カウンセリング

【評価方法】 平常点，中間試験。その他未定

| 【授業科目名】　行動療法 | 【担当者】 林　　潔 |
|---|---|
| 【開講期】　　２年後期 | |
| 【授業目標】<br>行動療法の基礎の学習。 | |
| 【テキスト・参考書】<br>カウンセリングと同じ<br><br>指定図書：図書館 | |
| 授　業　計　画 | |
| 1. ふたたびカウンセリングの流れ<br>2. 行動療法の特徴<br>3. 条件付けと認知過程<br>4. 行動療法の受理面接<br>5. 行動療法の技術：強化<br>6. 同　　：系統的脱感作<br>7. 同　　：フラッディング<br>8. 同　　：モデリング<br>9. 同　　：その他<br>10. 認知行動療法の技術 | |
| 【評価方法】<br>平常点，中間試験，レポート | |

| 【授業科目名】 臨床心理学 | 【担当者】 若山　隆良 |
|---|---|

【開講期】　2年後期

【授業目標】 心理療法の理論と実際を主として事例の紹介を通して講義し，「心理療法とはどういうものか」という大まかなイメージをもてるようにすることを目的とする。

【テキスト・参考書】
テキストは授業において指定する（最新のものを使用したいので）
・その他資料はプリントとして配布する

**授　業　計　画**

授業ではできるだけ多くの事例に接することができるようにしたい，その中で学生諸君が自らの感性を通して，いろいろなことを考えたり感じたりしていってほしい。できるかぎり学生諸君にとっても親しみやすい事例を紹介する中で，理論的な解説も加えるようにしていきたい。事例の選択は受講者の関心を聞きながら適宜に決めていくことにする。

【評価方法】
期末レポートの成績，授業の平常点（出席点ではない）の両方で評価する

| 【授業科目名】　健康心理学 | 【担当者】八木孝彦 |
|---|---|

【開講期】　２年後期

【授業目標】

健康心理学は基礎的側面と応用的側面を合わせ持つ、新しい学問領域である。したがって授業でも基礎的・学問的な内容から、応用的で自己の健康管理に役立つ内容まで幅広くふれたい。

【テキスト・参考書】

テキストは使用しないが参考書は随時紹介する。

授　業　計　画

Ⅰ　健康心理学とは
- (1)　健康の概念
- (2)　健康心理学の誕生
- (3)　健康心理学の定義と領域

Ⅱ　健康心理学の方法
- (1)　相関的研究
- (2)　実験的研究

Ⅲ　ストレス
- (1)　ストレスと自律神経系
- (2)　ストレスと内分泌系
- (3)　ストレスと免疫系

Ⅳ　ストレスと病気
- (1)　デイリィ　ハッスル
- (2)　ライフ　イベント
- (3)　ストレス　コーピング

Ⅴ　パーソナリティと健康障害
- (1)　タイプＡと虚血性心疾患
- (2)　パーソナリティと悪性新生物
- (3)　アレキシミアと心身症

Ⅵ　ライフスタイルと健康
- (1)　喫煙行動
- (2)　過食と肥満
- (3)　運動不足
- (4)　飲酒
- (5)　睡眠
- (6)　情緒的支援

Ⅶ　リラクセーション
- (1)　筋弛緩法
- (2)　自律訓練法
- (3)　バイオフィードバック
- (4)　東洋の行法

【評価方法】

筆記試験

| 【授業科目名】　障害児心理学 | 【担当者】　山田　寿子 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期 | |

【授業目標】

障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ることを目標とする。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

## 授　業　計　画

障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互連関を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の把え方及び治療方法について考えていきたい。

授業は以下の項目にそって進める。

Ⅰ　障害の定義
Ⅱ　障害児心理学の目的と課題
Ⅲ　障害の医学・生理学的基礎
Ⅳ　診断とテスト
Ⅴ　障害各論
①　視覚障害
②　聴覚障害
③　肢体不自由
④　知的障害
⑤　自閉性障害
⑥　言語障害
⑦　学習障害
⑧　重度心身障害

【評価方法】

レポート

| 【授業科目名】　交流分析 | 【担当者】 林　　潔 |
|---|---|
| 【開講期】　２年前期 | |
| 【授業目標】　交流分析の実際について学習する | |
| 【テキスト・参考書】<br>なし<br><br>指定図書：図書館 | |

**授　業　計　画**

1. 自己援助とソーシャルサポート
   自己援助の一つとしての交流分析
2. 交流分析の概要
3. 構造分析
4. エゴグラム
5. PACのバランスとアンバランス
6. 交流分析の目的
7. エゴグラムの事例
8. 交流パターン分析：3つの交流様式
9. 裏面交流と防衛機制
10. 交流の動機
11. ストローク
12. 時間の構造化
13. 基本的自己対人関係
14. ゲーム分析
15. ラケットとデイスカウント
16. 脚本の意味と禁止令
17. 脚本のタイプと脱出

**【評価方法】**

平常点，中間試験。その他未定。

| 【授業科目名】 児童相談 | 【担当者】 神田信彦 |
|---|---|

**【開講期】** 2年後期

**【授業目標】**

子どもの適応上の問題に関する相談の方法や態度に関する基本的な知識を習得する

**【テキスト・参考書】**

## 授　業　計　画

子どもたちの抱える発達上、適応上の様々な問題を理解し、子どもたちがより健康的に成長していくための援助について心理学的な立場を中心に考えていく予定である。

・講義は以下の項目に沿って進める予定である。

1．子どもの問題と相談活動
2．相談活動のプロセス
3．相談者の心構え
4．相談活動の方法
5．乳幼児の問題と相談
6．学童期の問題と相談
7．思春期の問題と相談

**【評価方法】**

①定期試験の結果
②平常点

| 【授業科目名】 心理学特講 I | 【担当者】 林　潔 |
| --- | --- |

【開講期】 2年後期

【授業目標】
最近の心理療法の2つの方法を紹介する

【テキスト・参考書】
なし

指定図書：図書館

授　業　計　画

I. マイクロカウンセリング
1. 折衷的カウンセリングとしてのマイクロ技法
2. カウンセリングの過程
3. マイクロ技法の紹介

II. コラージュ療法
1. ユングの分析心理学
2. ユングのアプローチの基礎
3. 箱庭とコラージュ（貼り絵）
4. コラージュの実際（2-3セッション）

【評価方法】
平常点，中間試験，レポート。

| 【授業科目名】 心理学特講Ⅱ | 【担当者】 伊藤　典幸 |
| --- | --- |
| 【開講期】 ２年後期 | |

【授業目標】

これまで知識として習得してきた心理学が、現実の社会の中での問題の解決にいかに応用されているかを紹介していく。それを通じ、今後、自らが現実の社会生活の中で直面するであろう問題解決場面に心理学をいかに活用しうるかを理解することを目標とする。

【テキスト・参考書】

授業の中で必要に応じ紹介する。

授　業　計　画

１回目の授業でにイントロダクションとして、心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、２回目以降、下記のテーマについて掘り下げた解説を行っていく。

１．環境心理学の分野からパーソナルスペース

現実の空間の中での人間の行動の実験例、実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作りだすには、心理学的な見地からどのように設計をしていったらよいかを考えていく。

２．事故とヒューマンエラー

航空機事故の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマンマシンインターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。

３．教育訓練プログラムの体験学習

米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラムの自体の意義を考えさせると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。

【評価方法】

レポート提出

| 【授業科目名】　心身医学 | 【担当者】 大賀　達雄 |
| --- | --- |

**【開講期】**　２年後期

**【授業目標】**

心身相関現象を学び、医療の場で心身症患者を全人的に把握するのに必要な心理学的知識を学ぶこと

**【テキスト・参考書】**

芦原　睦著「心身医学おもしろレクチャー」チーム医療

**授　業　計　画**

1　心身医学とは何か、　　2　心身医学を学ぶ目的
3　心身医学の歴史　　4　心身症の定義、代表的な心身症
5　ストレスの概念　　6　Cannon の理論
7　Selye の理論　　8　免疫系の働き
9　心理社会的ストレス　Holmes と　Lazarus　の考え
１０　失感情症　　１１　Ａ行動パターン
１２　心身相関と学習理論　　１３　心身相関と精神分析理論
１４　心身症を固定化する要因［疾病利得、自己破壊行動］
１５　治療関係におけるコミュニケーション［自家性の病気、医家性の病気、医原神経症］
１６　心身医学で用いる心理テストの種類
１７　エゴグラム［心理テストを実施、レポートにまとめる］
１８　内分泌系の心身症［摂食障害、過食症］
１９　循環器系の心身症［パニック・デイスオーダー］
２０　呼吸器系の心身症［過喚起症候群、気管支喘息］
２１　消化器系の心身症［消化性潰瘍、過敏性腸症候群］
２２　神経系の心身症　［頭痛、書痙、痙性斜頸］

**【評価方法】**　レポート

| 【授業科目名】　精神保健 | 【担当者】　青田　洋一 |
|---|---|

【開講期】　2年前期

【授業目標】

現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。

【テキスト・参考書】

（参考書）ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』（紀伊國屋書店）

授　業　計　画

おおよそ以下の項目にそって進める。

①総論…精神障害とは？　予防とは？

②基本的用語の理解

　不安，恐怖，強迫，離人，心気，

　抑うつ，躁，幻覚，妄想，せん妄

　もうろう，憑依，痴呆，健忘，ｅｔｃ

③精神障害の分類

④精神分裂病

⑤躁うつ病

⑥神経症

⑦その他の精神障害

⑧精神障害の治療

⑨精神障害と責任能力

⑩精神医療の現状と問題点

【評価方法】

定期試験　（テスト）

| 【授業科目名】　精神医学 | 【担当者】　青田　洋一 |
|---|---|

【開講期】　２年後期

【授業目標】

症例や社会問題における精神医学的検討を通して、精神医学的な見方・考え方ができるようになること。

【テキスト・参考書】

授　業　計　画

おおよそ以下の項目にそって進める。

①人間と薬物
　アルコール、覚醒剤などとのかかわりから
　人間をみていく。
②脳死
　脳死をとおして人間の生死について考える。
③症例
　症例をとおして精神障害への理解を深める。
④精神障害者の社会復帰
　われわれは、どうするべきなのかを考える。

【評価方法】

平常点　（リポート）

**学籍番号・**　　　　　　　　　　**氏　　名・**

〒187 東京都小平市小川町1-830
教務課0423(46)5619